令和４年度 活動報告

１．令和４年度　運営会議および理事会報告

開催日	会議	場所	審議事項
4 月 3 日（日）	第 1 回運営会議	オンライン	第 1 回理事会運営について
4 月 10 日(日)	第 1 回理事会	オンライン	１．千葉県助産師会総会開催について ２．令和 4 年度の教育計画について ３．IT システムについて ４．電話相談カルテについて ５．令和 4 年度「国際助産師の日」のつどいについて
4 月 29 日(金)	第 2 回理事会 （総会後）	オンライン	１．代表理事及び業務執行理事の選定 ２．選挙結果の確認について
6 月 5 日(日)	第 2 回運営会議	オンライン	第 3 回理事会運営について
6 月 19 日（日）	第 3 回理事会	オンライン	１．千葉県助産師会総会の評価 ２．日本助産師会代議員の選出について ３．表彰候補者について ４．千葉県への要望書提出について ５．千葉県との連携について ６．理事会等の日程について ７．「国際助産師の日」のつどいの担当地区について ８．産後ケアでの感染対策について ９．電話相談カルテの記入・返送方法について
8 月 21 日（日）	第 3 回運営会議	オンライン	第 4 回理事会運営について
9 月 4 日（日）	第 4 回理事会	千葉市民会館（オンライン併用）	１．助産所実習費について ２．研究協力依頼について ３．中間報告について ４．所属地区について ５．日本助産師会からの支援金について ６．アウトリーチ型産後ケアでの感染対策ガイドラインについて ７．インシデント・アクシデント報告について ８．細則改正について ９．産後ケア事業について
9 月 25 日（日）	第 1 回 電磁的理事会		後援依頼について

開催日	会議	場所	審議事項
11 月 6 日（日）	第 4 回運営会議	オンライン	第 5 回理事会運営について
11 月 20 日（日）	第 5 回理事会	オンライン	１．中間報告について ２．菜の花会の開催について ３．令和 5 年度の総会開催について ４．千葉県知事との懇話会につて ５．千葉県の寄り添い型支援について ６．日本マタニティフィットネス協会からの依頼について ７．機密および個人情報の守秘に関する覚書について ８．細則改正について ９．「国際助産師の日」のつどいについて
令和 5 年 1 月 8 日（日）	第 5 回運営会議	オンライン	第 6 回理事会運営について
1 月 22 日（日）	第 6 回理事会	オンライン	１．日本助産師会福祉事業等の申請について ２．日本マタニティフィットネス協会からの依頼について ３．千葉県助産師会総会の準備について ４．訪問看護ステーションについて ５．部会のメーリングリストについて ６．令和 5 年度教育計画について ７．地区報告会について ８．定款、細則、選挙運営規程、推薦委員会規程の改正について
2 月 19 日（日）	第 7 回理事会	オンライン	１．活動報告および活動計画 ２．HP 助産所紹介の変更 ３．産後ケアについて
3 月 5 日（日）	第 6 回運営会議	オンライン	第 7 回理事会運営について
3 月 12 日（日）	第 8 回理事会	千葉市美浜文化ホール（オンライン併用）	予定
4 月 9 日（日）	第 1 回運営会議	オンライン	予定
4 月 16 日（日）	第 1 回理事会	オンライン	予定
4 月 29 日（祝）	第 2 回理事会（総会後）	オンライン	予定

２．令和４年度　事業計画の評価

目標	実施計画および具体的内容	成果
１．組織体制を強化し、組織内および各関連機関と連携のとれた組織となる。	１）定期的に総会・運営会議・理事会・各地区定例会・各部会・各委員会を開催し、組織的に取り組む。 ２）会員相互の連絡・報告が円滑に行われる組織を目指す。 ３）専門部会間の連携を強化する。 ４）定款・細則・規程を見直し、組織運営を効果的なものにする。 ５）日本助産師会と連携して組織運営を行う。 ６）各自治体および関連団体と連携する。	１）総会は、令和４年４月29日（祝）に新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催した。運営会議６回、理事会８回は、第４回、第８回理事会を除いて、すべてオンラインでの開催だった。対面での理事会もオンラインを併用した。 生と性の健康教育特別委員会を常設委員会とした。 地区定例会・部会・委員会を定期的に開催した。事業計画に則り事業の推進・調整・支援を行った。 ２）大潮を年３回（第38・39・40号）発行した。ホームページやメーリングリストを用いて、新型コロナウイルス感染症関連の情報を含めて、随時会員に情報発信した。 ３）3部会集会は開催しなかったが、3部会に共通する安全対策等の研修会で連携を図った。 ４）定款及び細則を見直し、令和５年度の総会にて定款改定案を提示する。細則の改正を行い、選挙運営規程や推薦委員会規程を改正した。 ５）日本助産師会総会に代議員を派遣し、県代表として意見を述べた。日本助産師会・南北関東地区の代表者会議に参加して協議した。 ６）千葉県と情報共有をして、協力するとともに、必要に応じて要望を行った。各地区を通して、市町村の事業に協力した。新型コロナウイルス感染症については、関係機関と情報共有し、連携して対策を実施した。看護協会や医師会等の関連団体と連携し、千葉県看護協会とは産前産後ケアについては意見交換を行った。
２．地域で活動する助産師に対し、安全対策への組織的な取り組みを行う。	１）助産所の質の維持を図る。 ２）事故事例等の報告書を作成し、その組織的な運用を通して母子の安全に努める。 ３）母乳育児支援、産後ケアにおける母子の安全に努める。 ４）保健指導の安全管理指針の策定を推進する。 ５）安全のための講習会の受講を推進する。 ６）日本助産師会賠償責任保険への加入を推進する。 ７）地域の協力機関との連携を図る。	１）助産所３か所の安全管理評価を実施した。評価後の改善点をアドバイスした。 分娩取り扱い助産所の基準について審議した。 ２）全助産所部会員のIT利用により転院・搬送報告の内容を確認した。ヒヤリハット・グッドジョブについての報告を部会内で行った。インシデント・アクシデント報告の意義とその方法についての研修会を開催して、会員に周知した。 ３）産後ケアの対象者や家族が新型コロナウイルスに感染しているか確認できない場合の手順書を作成した。 ４）助産所におけるBCP作成ガイドラインに基づき、BCPと安全管理指針を併せて検討したが、安全管理指針は作成することができなかった。 ５）安全管理研修を年に４回開催した。 ６）助産所・保健指導・勤務助産師それぞれに賠償責任保険への加入を推奨した。 ７）産婦人科医会との研修会は企画できなかったが、地域の産婦人科医と情報交換を行った。
３．助産および母子保健事業を実	１）電話無料相談（ミッドワイフ千葉）を継続する。 ２）電話相談における地域	１）49名の相談員の協力を得て電話相談を継続した。電話機のキャリア変更に伴うトラブルに対応し、カルテの記載方法や送付方法を検討した。 ２）他機関との連携を図り、交流会や研修会で情報共

施する。	との連携を深める 3）コロナ禍を考慮した方法で、「国際助産師の日」のつどいを開催する。 4）地域と施設の連携の推進を図り、安定した継続母子保健活動を行う。 5）産後ケアの質の向上を図る。 6）千葉県及び市町村と連携して母子保健事業を推進する。	有を行った。 3）令和 4 年 5 月 21 日～6 月 5 日に「国際助産師の日」のつどいを YouTube 配信で開催した。 4）地区活動等に勤務助産師も加わり、連携をとりながら母子保健活動を実施した。 各地区と関連施設が情報交換を行い、連携した。 5）産後ケア実務助産師研修修了者の普及を行い、4 名の申請があった。市町村の産後ケア委託事業に協力して実施した。地域と施設の連携に向けて、千葉県看護協会と産後ケア等の意見交換を行った。 6）産後ケアアドバイザーが県及び市町村支援事業に積極的に関わることができるように支援した。 寄り添い型支援等の要請に応えて協力した。
4．助産師のキャリア・アップを支援する。	1）助産師の継続教育として必要かつ効果的な研修会を開催する。 2）CloCMiP®ラダーⅢの認証および更新を推進する。 3）各種表彰を推進する。	1）継続教育としてだけでなく、コロナ禍に対応した研修会を企画・実施した。研修会の多くがオンラインとなり、感染拡大期には対面の研修会は中止を余儀なくされた。 2）ラダーⅢの認証および更新に必要な情報を収集して周知し、ラダーⅢ対応の研修会を開催した。 3）各種表彰に可能な限り候補者を選出し、会を通して表彰の候補者を推薦した。
5．講師を育成し、健康教育を実施する。	1）「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める。 2）「生と性の健康教育」の方略を検討する。	1）研修会をオンラインで開催した。研修会の内容をまとめてニュースレターを発行し、参加できなかった会員にも周知した。 2）各地区の現状について情報交換し、実施方法の工夫や学校との交渉、各地区の抱える課題について検討した。
6．災害対策への取り組みを強化する。	1）災害発生時に対応できる組織を整備する。 2）日本助産師会や他県の助産師会との連携を強化する。 3）千葉県や各市町村との連携を強化する	1）シミュレーション訓練を実施した。 災害時支援協力員・協力助産院は増加している。 各地区で災害時支援マニュアルの読み合わせを行い、災害時の行動を確認した。 2）日本助産師会の研修会で他県と意見交換できた。 3）柏市との災害支援協定を締結した。各地の防災訓練が再開し、参加した。千葉県のリエゾン講習に参加した。EMIS に登録でき、リエゾンとの連携が可能となった。
7．会員増加と会員同士の交流を図る。	1）会員の定着により助産師会活動の活性化を図る。 2）会員同士の交流を図る。	1）会員の増加を目指し、目標 370 名のところ、2022 年度末の会員数は 370 名で目標は達成した。 コロナ禍で地域での健康教育等の協力を募る機会は少なかったが、非会員の研修参加を促し入会の機会とした。 2）新型コロナウイルスの感染が繰り返したため、菜の花会は開催しなかった。世代や部会を超えた会員同士の交流の場として、新しい生活様式での開催方法の検討を継続する必要がある。
8．千葉県助産師会の事務所の管理・運営の安定化を図る。	1）事務所の管理・運営方法を見直す。 2）事務員の雇用の安定化を図る。	1）事務所の管理・運営方法を検討した。 機密および個人情報の守秘に関する覚書を取り交わし、個人情報保護のために必要な物品の整備を行った。 2）事務員は継続して勤務しており、安定している。引き続き、事務員が働きやすい環境を整備する。

３．地区活動報告

千葉県助産師会地区割り

地区部会名		市町村名					
1	柏･野田・我孫子・流山・松戸地区部会	柏市	野田市	我孫子市	流山市	松戸市	
2	市川・浦安地区部会	市川市	浦安市				
3	船橋地区部会	船橋市					
4	習志野・八千代・鎌ケ谷地区部会	鎌ケ谷市	習志野市	八千代市			
5	印旛地区部会	白井市	印西市	佐倉市	成田市	酒々井町	富里市
		栄町	八街市	四街道市			
6	香取・海匝・山武地区部会	銚子市	旭市	匝瑳市	横芝光町	芝山町	東庄町
		東金市	山武市	多古町	神崎町	香取市	
		大網白里市		九十九里町			
7	千葉地区部会	千葉市					
8	長生・夷隅地区部会	茂原市	白子町	長生村	一宮町	長南町	睦沢町
		勝浦市	いすみ市	大多喜町	御宿町	長柄町	
9	市原・君津・安房地区部会	市原市	木更津市	君津市	富津市	袖ケ浦市	鴨川市
		館山市	南房総市	鋸南町			

令和４年度　　第１地区　　活動報告　　№1

地区名：柏・野田・我孫子・流山・松戸地区　　地区部会長：加藤　睦　　会員数：72 名

１．定例会開催　　年 11 回（8 月を除く）

２．研修会

開催日	内容	講師
９月２４日	防災士の講演「災害から命を守る・つなぐ」	荒谷　博氏

３．行政および関連団体等の会議参加状況は 48 ページを参照。

４．行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
柏市新生児訪問	7 名	流山市産後ケア事業ケア受託者	2 名
柏市こんにちは赤ちゃん訪問	1 名	流山市「赤ちゃんと一緒」事業	2 名
柏市にこにこダイアル(育児相談)	1 名	松戸市新生児・乳児全戸訪問	2 名
柏市妊娠子育て相談センター業務	1 名	松戸市産後ケアコーディネーター	1 名
我孫子市新生児・乳児全戸訪問	2 名	松戸市産後ケア　ケア従事者	5 名
我孫子市しあわせママパパ学級	11 名	野田市新生児訪問	1 名
我孫子市利用者支援事業	1 名	野田市産後ケアコーディネーター	1 名
流山市新生児訪問	6 名	野田市産後ケア　ケア従事者	4 名
流山市乳児全戸訪問	1 名	柏市産後ケアコーディネーター	1 名
流山市妊娠出産子育てｻﾎﾟｰﾄ事業	3 名	柏市産後ケア　ケア従事者	13 名
流山市ﾊﾛｰﾍﾞﾋﾞｰ(両親学級)事業	2 名		

５．健康教育・講演活動（生と性の健康教育）

対象	回数	講師（実数）
小学生	63 回	4 名
中学生	40 回	4 名
高校生	3 回	2 名
保護者・PTA・その他	8 回	4 名

６．地区助産師活動

柏市 はぐはぐ☆子育て応援フォーラム柏 2023 協力・参加

流山市：NPO なこっこ 事業協力（新米ママ講座）

柏市：NPO 赤ちゃんのほっぺ 事業協力（子育て講座・相談事業）

松戸市：親子 DE 広場（相談業務・子育て講座）、社会福祉協議会「出生直後の支援事業支援者養成講座」講師、松戸市子育てフェスティバル 2023 実行委員会 会議

令和４年度　　第１地区　　活動報告　No.2

定例会開催：11 回

目標	事業	結果および評価
１.会員同士の結束を図り、お互いの知識や技術の向上を図る	１）定例会の開催	・活動内容について概ねできている。 ・昼は対面、夜は zoom で開催し、より多くの会員と関わることができた。
２.地域に密着した、助産師ができる保健活動を行う	１）子育て・女性の健康支援事業 ２）我孫子市しあわせママパパ学級事業 ３）松戸市産後ケア事業・野田市産後ケア事業 ４）多職種連携事業	・感染予防に気をつけ、会員各自で活動を行っている。 ・はぐはぐ☆子育て応援フォーラム柏 2023、松戸子育てフェスティバル 2023 が開催予定で会議に参加中。 ・地域の母子保健関連会議に参加。講師派遣依頼あり、講師派遣した。 我孫子市とは密に連絡をとり、調整している。栄養士・歯科衛生士とも、連絡を取れていて、調整できている。 松戸市との打合せは 1 回行えた。野田市産後ケアの依頼が入るようになり、担当者と連絡を取り合っている。柏市のアウトリーチ型産後ケアの委託も、会議を繰り返し受諾、11 月から開始。 ・個人の活動の中でそれぞれ連携ができている。
３.健康教育活動を充実させる	１）性の健康教育事業 ２）性の健康教育講師の育成授業	・依頼に対し講師の割り振りを決め、派遣した。 ・教材の管理：整理ができていない。 ・研修会に参加、書籍の紹介や LINE を介した情報交換を活発にした。 ・保護者の参観が今年度は可となったところもあるので、希望者の講座見学を進めた。
４．災害に備え、母子の災害時支援をする	１）災害対策事業 ２）災害時母子支援事業	千葉県助産師会の発災時初動訓練に参加した。 地区研修会で災害について取り上げ、新・災害時支援マニュアルについても確認した。 柏市との協定締結後、実働時の細かい手続きについて話し合った。

令和４年度　　第２地区　　活動報告　　№.１

地区名：市川・浦安地区　　地区部会長：増田文子　　会員数：41 名

１．定例会開催　　年６回

２．研修会

開催日	内容	講師
10 月 29 日	赤ちゃんの育ちに合った「補完食」(zoom 開催)	江田　明日香　氏

３．行政および関連団体等の会議参加状況は 48 ページを参照。

４．行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
堀江子育て広場（浦安市社協）	９名	助産師相談（浦安市）	９名
赤ちゃんサロン（浦安市）	９名	浦安市養育支援訪問（浦安市）	２名
ほのぼのタイム（浦安・公民館）	９名	おやこ de はぐのび（浦安・公民館）	３名
ここゆる（浦安・公民館）	２名	浦安市社会福祉協議会評議員	１名
特別支援性教育講師（浦安市）	１名	市川市 STD 対策推進協議会委員	１名
市川市健康福祉センター母子保健推進協議委員	１名	ファミリーサポート基礎研修講師（社会福祉協議会）	４名
市川市産後ケア事業	２名（産後ケア事業は船橋地区より３名助産師の応援あり）		

５．健康教育・講演活動（生と性の健康教育）

対象	回数	講師（実数）
小学生	25 回	５名
中学生	17 回	２名
特別支援学校	３回	１名
教員	３回	１名
保護者・社会人	１回	１名
その他	５回	４名

６．地区助産師活動

・11 月 23 日　「浦安市子育てメッセ」に子育て情報パッケージとして参加（チラシ作成）

７．その他

・６月 21 日　10 月 13 日　市川市健康支援課とアウトリーチ型産後ケアについて話し合い
　11 月より開始

令和４年度　　第２地区　　活動報告　　№.２

定例会開催：６回

目標	事業	結果および評価
１．会員同士の結束を図り、知識技術の向上を目指す。	1）定例会開催 2）研修会開催 3）地区会員の定例会への参加を働きかける 4）会員の増員	・2か月毎の定例会開催。 コロナ感染状況をふまえ zoom 併用にて開催 ・定例会は審議事項の検討と行政への協力事業の情報共有(症例検討)と伝達講習を行う。 ・感染対策のため zoom で開催。（50 名参加） ・定例会開催前に会員に参加をメールおよび電話で呼びかけた。 ・欠席者にメールや郵送で議事録送付。 ・2 地区会員の把握、地区会費の徴収は２回にわたり行った。（会費納入者 28 名） ・非会員へ助産師会の活動案内をした。
２．地域・所属を超えたネットワークの構築	1）社会福祉協議会との連携 (1)研修会講師として参加 2）他職種との交流・連携を深める。 (1)STD 対策推進協議会 (2)母子保健推進協議会	・社会福祉協議会の評議員として助産師会から１名参加している。 ・ファミリーサポート基礎研修会講師として参加。 ・公民館子育て事業・特別支援に関する性教育の講師として参加。 ・市川市 STD 対策推進協議会に幹事として１名参加。 ・母子保健推進協議会に委員として１名参加。
3. 地域に密着した母子保健活動を積極的に行う。	1）地域子育て支援事業への協力 2)行政母子保健事業に協力 (1)浦安市こども家庭支援センター (2)浦安市健康増進課 (3)寄り添い型支援事業 (4)市川市産後ケア事業 3)健康教育・講演会への講師派遣 (1)健康教育 (2)子育て支援講座	・浦安子育てメッセの事業参加。 ・公民館より新たに子育て支援の依頼あり ・浦安市養育支援訪問に関する事業提携継続（今年度６件依頼あり） ・助産師相談（浦安市） ・寄り添い型支援事業 ・市川市産後ケア事業（アウトリーチ型）スタート（11 月より） ・研修会や情報交換に個人で参加した。 ・健康教育の質の向上と活動の充実をした。 ・オンラインを活用した講座開催。対面での講座は昨年より増加。新しい講師の参加あり。 ・常に新しい情報の取得のため研修会に参加。
4. 本部・千葉県・助産師会事業への参加協力	1）「助産師の電話無料相談」に協力 2）研修会の参加協力 3）国際助産師の日の参加協力	・電話相談員として４名参加した。 ・部会を超えた研修会へ参加した。 ・動画「子どもを守る避難術」を作成
5. 災害に備える	1）災害時迅速な対応への準備 2）浦安市との災害協定継続 3）他職種との防災連携	・連絡網の見直しと会員の安否確認をした。 ・浦安子育てメッセで千葉県助産師会防災動画を紹介 ・社会福祉協議会との連携継続。

令和４年度　　第３地区　　活動報告　　№.１

地区名：船橋地区　　地区部会長：田村陽子　　会員数：３６名

１．定例会開催　５回　4/24(対面)　7/31(zoom)　10/2(zoom)　12/11(対面)　2/5(対面)

２．研修会

開催日	内容	講師
７月３１日	最近の婦人科治療と患者の特徴	永野玲子氏・成戸智恵子氏
１２月１１日	伝達研修(１地区の災害対策研修を受けて)	田邉悦子氏

３．行政および関連団体等の会議参加状況は 48 ページを参照

４．行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
４か月児健康相談	11 名	４か月児健康相談（鎌ケ谷市）	１名
１歳６か月児健診	９名	パパママ教室（鎌ケ谷市）	２名
３歳児健診	８名	妊産婦・新生児訪問（鎌ケ谷市）	２名
１歳６か月児健診電話フォロー	８名		
養育支援家庭訪問	５名		
不妊不育専門相談	２名		
パパママ教室	９名		
妊産婦・新生児訪問	12 名		
産前産後サポート事業	７名		

５．健康教育・講演活動（生と性の健康教育）

対象	回数	講師（実数）
中学生	５０回	３名
高校生	１回	１名

６．地区助産師活動

10 月 16 日　「子育て応援メッセ in ふなばし」ベビーマッサージのワークショップにて参加

11 月 6 日　「ふなばし健康まつり」女性の健康相談にて参加

７．その他

4 月 26 日　船橋市のアウトリーチ型産後ケア事業について行政と打ち合わせを行う

8 月 19 日　船橋市地域保健課へ、千葉県助産師会のアウトリーチ型産後ケアについて、武田会長とともに要望に伺う

R5 年 2 月～市川市のアウトリーチ型産後ケア事業に協力要請があり協力中

令和４年度　　第３地区　　活動報告　　№.２

定例会開催：５回　（対面３回、ZOOM２回）

目標	事業	結果および評価
１.会員同士の結束を図り、お互いの知識や技術の向上をめざす	１）定例会の開催 （１）理事会報告等の連絡 （２）研修会の開催 ２）地区会員増加への取り組み （１）地区便りの発行、配布	・感染の状況をみながら、ZOOM 開催を併用したが、出席者の数は同程度だった。出来るだけ対面する事で交流は深まるが、オンライン開催に慣れてきたメリットも感じられる。 ・研修会には非会員の参加もあり、助産師会のアピールにもなった。年に一回以上の開催をめざしたい。 ・勤務助産師部会員の参加は少ないが、定例会報告を全員に送っているので、メールへの返信が時々あり、繋がりを感じている。 ・地区便りを発行した。
２.地域に根ざした母子保健活動を行う	１）行政の母子保健事業に協力 ２）健康教育・講習会に講師を派遣し、地域の子育て支援に協力	・妊産婦・新生児訪問(赤ちゃん訪問）事業、４か月児健康相談、１歳６か月児健診、３歳児健診、パパママ教室、産前産後サポート事業、不妊不育専門相談事業、養育支援訪問事業等に従事した。 ・命の授業、赤ちゃん講座、エイズ講習会等に講師を派遣した。 ・ベビーマッサージ、マタニティーヨガ等の公民館や児童ホームの事業に協力した。 ・地域の子育て支援イベントや健康まつりに協力した。
３.災害に備える	１）災害時に落ち着いて行動できる体制作り	・定例会時に防災研修会の伝達を行った。 ・安否確認の返信は 83%であった。 ・災害時支援協力員の登録者８名。協力助産院５ヵ所。引き続き登録者への声掛けを行い、防災に関しての情報共有を心がけていきたい。
４.千葉県助産師会が主催する事業への参加協力を行う	１）「助産師の電話無料相談」に協力 ２）研修会への参加 ３）イベントや事業への協力	・妊婦訪問・新生児訪問・赤ちゃん訪問時にフライヤーを配布している。 ・電話相談に６名協力した。 ・「国際助産師の日」の動画作成に協力した。 ・市川市産後ケア事業に参加した。

令和４年度　　第４地区　　活動報告　　№.１

地区名：習志野・八千代・鎌ケ谷地区　　地区部会長：金子みゆき　　会員数：36 名

１．定例会開催　　年８回　・　役員会　　年２回

２．研修会

開催日	内容	講師
７月５日	災害に備える	伊東千佳子氏

３．行政および関連団体等の会議参加状況は 48 ページを参照。

４．行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
八千代市プレママクラス	２名	習志野市公民館講座	１名
八千代市公民館思春期講座	２名	習志野市ＰＴＡ家庭教育学級	５名
八千代市産後ケア	１０名	習志野市育児講座	２名
		船橋市家庭教育セミナー	５名

５．健康教育・講演活動（生と性の健康教育）

対象	回数	講師（実数）
就学前	１回	１名
小学生	45 回	５名
中学生	14 回	１名
高校生	１回	１名
ＰＴＡ　保護者	12 回	２名
公民館	８回	３名
その他（フリースクール等）	28 回	１名
専門職	２回	１名
チャイルドライン相談員養成講座	１回	１名

６．地区助産師活動

スタジオアリスセミナー

八千代市思春期保健ネットワーク会議

八千代市第２次健康まちづくりプラン推進・評価委員会

習志野市防災会議

令和４年度　　第４地区　　活動報告

定例会開催：８回

目標	事業	結果および評価
１．会員同士の交流を図り、お互いの知識や技術の向上に務める	１）定例会の開催 ２）地区研修会の開催 ３）地区会員の増員に取り組む ４）地域周産期センターと交流会	・定例会はオンライン８回、対面２回行うことで交流ができた。 ・今年度は役員会２回開催。 ・「災害に備える」をテーマに４地区としての災害を学ぶことができた。 ・地区会員未入会者へ地区会の案内を郵送。 ・新入会員４名 ・開業産院へ挨拶入会に行き入会勧める ・コロナ禍のため交流会見送る
２．地域に密着した母子保健・健康支援活動を行う	１）子育て支援 ２）八千代市プレママ教室開催 ３）行政の事業に協力	・会員各自が各々地域にて行う。 ・年８回開催。 ・公民館、小中学校からの依頼の健康講座の実施 ・八千代市産後ケア、訪問 46 件。 ・八千代市思春期保健ネットワーク会議 ZOOM にて参加、活動報告を行う。 ・習志野市公民館事業に協力、幼児育児講座、家庭教育学級開催。 ・船橋市家庭教育セミナーに協力
３．健康教育活動の充実	１）「生と性の健康講座」開催 ２）思春期保健シンポジウム協力	・定期的に講座内容検討、教材の作成・管理。 ・各自で知識の向上に努める。 ・八千代市養護教諭へプレゼンテーション。 ・思春期保健シンポジウムにて講演 「子どものためにも知っておくべき性の話」
４．災害に備える体制を整える	１）災害時速やかに行動できるための準備 ２）災害時、行政と連携し支援活動ができる体制づくり	・千葉県助産師会災害対策委員会のシミュレーション訓練の参加 ・災害時支援マニュアル改訂版の読み合わせ ・協力員 12 名（1 名増員） ・習志野市防災会議出席
５．千葉県助産師会事業の参加	１）助産師による電話無料相談協力 ２）スタジオアリス	・相談協力員８名 ・電話相談員として研鑽する ・協力員３名

令和４年度　　第５地区　　活動報告　　№.１

地区名：印旛地区（白井・八街・富里・成田・印西・四街道・佐倉・栄・酒々井）
地区部会長：佐々木明代　　会員数：５５名

１．定例会開催　　年４回（予定）
２．研修会

開催日	内容	講師
１１月２７日	電話相談におけるメンタルヘルスケア ～非対面式の中で行うカウンセラーとしての心構え～ ZOOM 開催	成田赤十字病院 臨床心理係長/ 公認心理師 橘　稚佳子氏

３．行政および関連団体等の会議参加状況は 48 ページを参照

４．行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
佐倉市産後ケア事業	５名	市川市（プレ親 YouTube 講座・産後のママのためのボディケア教室）	１名
四街道市産後ケア事業	３名	栄町産後ケア事業・訪問事業	２名
成田市産後ケア事業	８名	酒々井町マタニティ教室・訪問事業・産後ケア事業	４名
成田市こんにちは赤ちゃん事業	６名	白井市母親教室	１名
印西市産後ケア事業・訪問事業	５名	睦沢町（母親教室・女性のためのヨーガ講座）・長生村（母親教室・産後のベビー＆ママヨーガ教室）	１名
四街道市訪問事業・乳児健診・マタニティケア	１名	富里市訪問事業・母親教室・産前&産後ママヨーガ・ベビーヨーガ	４名
八街市産後ケア事業 マタニティ教室・訪問事業	４名	長南町（産後のママ and ベビーマッサージ教室）	１名

５．健康教育・講演活動（生と性の健康教育）

対象	回数	講師（実数）
小学校	７回	３名
中学校	１１回	３名
高校	１回　中止	１名　中止
中学校（佐倉市子育て理解講座 DVD 撮影） 保護者	１回 １回	１名 １名
成人知的・精神障害者	１回	１名

令和４年度　　第５地区　　活動報告　　№.２

定例会開催：4 回

目標	事業	結果および評価
１．会員の交流を図り知識・技術の向上に努める	１）定例会の開催 ２）地区研修の充実 ３）会員の増加 ４）日本助産師会会員として会に協力 ５）千葉県助産師会会員として協力	１）定例会の開催（７月１０月２月３月） ２）地区研修１１月子育て委員会主催研修参加 ３）新会員４名入会 ４）日本助産師会及び千葉県助産師会の各委員会主催の研修会に会員各自が参加
２．地域に密着した保健活動を行う	１）保健センター及び関係機関の事業へ協力 ２）地域の保健福祉事業への協力 ３）こんにちは赤ちゃん事業	１）市の母親学級への講師派遣・新生児訪問・こんにちは赤ちゃん事業などの行政の事業に契約し実施 ２）佐倉市・四街道市・成田市・八街市・印西市・酒々井町の産後ケア事業を実施 ３）成田市健康福祉祭りはコロナのため中止
３．思春期講話の充実を図る	１）講師のスキルアップ ２）認定者の育成 ３）講演会への講師派遣	１）小中学校あわせて１８校へ思春期講話講師を派遣 ２）佐倉市内中学校向け DVD 撮影
４．千葉県助産師会事業への参加・協力を行う	１）「助産師による電話無料相談」運営 ２）電話相談員として協力 ３）県研修会・イベントへの参加	１）子育て委員会として電話相談事業運営実施予期せぬ電話回線でのトラブルを乗り越え相談員へのサポートを実施１１月に研修会企画開催 ２）「国際助産師の日」の協力（Web 開催） ３）「生と性の健康講座」に参加 ４）スタジオアリスマタニティーセミナー参加 ５月６月７月１２月開催９月は中止
５．地区部会の運営円滑化を図る	１）地区会員へのスムーズな連絡 ２）地区部会運営の参加 ３）役員の役割調整 ４）佐倉市・成田市・八街市災害協定 ５）災害対策	１）SNS を活用した連絡網の実施 ２）役員会の開催（４月６月９月１１月１月） ３）１０月３日県主催災害シミュレーション参加 ４）地域防災訓練参加 佐倉市（１０月１６日） 成田市（１１月１２日） 八街市（R５年２月２６日）

令和４年度　　第６地区　　活動報告　　№.１

地区名：香取・海匝・山武・長生・夷隅地区　　地区部会長：石毛光代　　会員数：24 名

１．定例会開催　　年２回

２．研修会…開催なし

開催日	内容	講師

３．行政および関連団体等の会議参加状況は 48 ページを参照。

４．行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
新生児訪問	１名	産後ケア	１名
マタニティクラス	１名		名

５．健康教育・講演活動（生と性の健康教育）

対象	回数	講師（実数）
小学生	８回	２名
中学生	３回	２名

６．地区助産師活動

７．その他

10/23　九都県市合同防災訓練に２名参加

令和４年度　　第６地区　　活動報告　　№２

定例会開催：４回

目標	事業	結果および評価
１．会員同士の交流を図り、知識や技術の向上に努める	１）定例会の開催 ２）地区研修会の開催 ３）会員の地区参加への働きかけ ４）地区会員増員への働きかけ ５）健康教育の講師育成	・諸般の事情により、定例会の開催は２回となった。連絡事項や意見交換についてはメールで行った。そのため、地区研修会の開催に至らなかった。 　引き続き地区会活性のための運営は今後の課題とする。
２．地域に密着した母子保健活動を行い地域との連携に努める	１）行政母子保健事業への協力 ２）城西国際大学祭に助産師会として参加 ３）健康教育・講演会への講師派遣	・感染対策のもと、両親学級、新生児訪問、産後ケアなど市町村への協力実施。 ・大学祭は、感染対策のため参加なし。 ・依頼を受け、健康教育への講師派遣実施。
３．県助産師会事業への参加・協力を行う	１）電話相談事業に協力 ２）スタジオアリスマタニティセミナー協力 ３）国際助産師の日イベントの運営	・３名が電話相談員として協力した。 ・４件のマタニティセミナーに協力。 ・各地区１テーマで動画作成、期間限定でYouTube 配信。国際助産師の日実行委員長清水氏が中心となり無事開催に至った。
４．災害対策を整える	１）災害時の対応について検討 ２）災害訓練への参加	・災害訓練参加。地区会員へはグループ LINE とメールで発信し安否確認と情報収集実施。 ・九都県市合同防災訓練に２名参加

令和４年度　　第７地区　　活動報告　　№.１

地区名：千葉地区　　地区部会長：菅谷厚子　　会員数：49 名

１．定例会開催　　年 12 回

２．研修会

開催日	内容	講師
7 月 28 日	「出生前診断・治療を考える～相談の現場から～」zoom	渡辺佐智子氏
9 月 26 日	「赤ちゃんの発達をサポートするパパママチームの現状と課題」	高瀬堅吉氏
11 月 7 日	「ジェンダーと性暴力」	大川玲子氏
1 月 17 日	「周産期メンタルヘルスを深める」	榎原雅代氏
定例会にて ミニ学習会 症例検討	8/3「前回恥骨痛・歩行困難の既往がある妊婦への関わり」 11/9「産む力を育む育てる力を育む」 12/12「妊娠中の地域の連携により産後の経過が安定した事例」 2/10 D-MER（不快性射乳反射） 「エビデンスに基づく助産ガイドライン 2020」抄読会	菅谷厚子氏 菅谷厚子氏 新森永遠路氏 渡辺佐智子氏

３．行政および関連団体等の会議参加状況は 48 ページを参照。

４．行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
土日両親学級	12 名	不妊専門相談（面談）	2 名
母親＆父親学級（平日）	13 名	不妊専門相談（電話）	4 名
母乳教室	13 名	思春期保健事業	2 名
女性の健康相談	7 名	新生児・妊産婦訪問指導員	10 名
産後ケア事業（委託助産院）	16 名	包括支援センター相談員	1 名
女性のためのつながりサポート事業	4 名		

５．健康教育・講演活動（生と性の健康教育）

対象	回数	講師（実数）
小学校	22 回	4 名
中学校	35 回	2 名
高等学校	10 回	1 名
保護者・社会人・他	51 回	1 名
助産師会主催	7 回	6 名

６．地区助産師活動

・いのちの講座　「親子で学ぶ講座Ⅰ」「親子で学ぶ講座Ⅱ」「大人が学ぶ講座」

・温♡line 講座“親になるクラス”（3 つのテーマ）オンライン両親学級無料配信

・温♡line トーク「育児グループトーク」「個別トーク」月 1 日開催

・医療機関との連携「産科クリニック産褥訪問」「木村病院との連携・カンファレンス・両親学級」

・千葉市男女共同参画市民企画講座 12/8 「豊かないのちを育むジェンダー・センシティブ」

７．その他

令和４年度　　第７地区　　活動報告　　№２

定例会開催：12 回

目標	事業	結果および評価
１.母子保健知識の普及・生命の大切さの普及・女性の健康支援を行う	１）土日の両親学級（千葉市委託事業） ２）不妊専門相談事業［電話相談］（千葉市委託事業） ３）「いのちの講座」開催 ４）オンライン事業 ５）千葉市母子保健事業 母親＆父親 45 回・母乳教室 27 回・女性の健康相談 36 回・不妊専門相談［面談］15 回・思春期保健事業・女性のための相談会・産後ケア ６）施設との連携 ７）千葉市のイベント参加 ８）千葉県助産師会事業	・18 回開催（第１回：12 回 第２回：６回）第２回のフォローアップクラスを増やした。 ・委託事業プロポーザル方式に参加した。 ・毎週木曜日 15:30～20:30 年間 48 回の電話相談を４名で担当した。研修会を Zoom 開催した ・公開講座、親子で学ぶ講座Ⅰ(8 回) 親子で学ぶ講座Ⅱ(2 回)大人が学ぶ講座(2 回)を開催。 ・小学校の要請により出張講座を行った。 ・温♡line 育児グループ＆個別トークの開催 ・温♡line 講座“親になるクラス”を配信した ・各事業へ講師及び相談員を推薦した。 ・千葉市男女共同参画課からの依頼で「女性による女性のための相談会」にて健康相談を担当した。７月～２月（８回） ・千葉市産後ケアに委託助産院 16 名が協力した。(訪問型・日帰り型) ・産科２施設と連携し産褥訪問を９名で担当 ・精神科１施設と連携し訪問要請に応えた。毎月カンファレンス開催、両親学級を開催した ・千葉市男女共同参画市民企画講座を開催した。参加者 34 名であった。 ・電話無料相談員(11 名)スタジオアリスマタニティセミナー講師、「国際助産師の日」動画作成 ・令和５年度国際助産師の日のつどい担当地区として準備を進めている。
２．助産師の知識・技術を高める	１）研修会の開催 ２）事例検討会・報告会 ３）学生実習協力	・千葉市母子保健研修事業業務委託研修会を３回開催した。(会場・Skype 併用) ・定例会を活用し、抄読会、ミニ学習会、事例報告、検討を行うことで、会員の知識を深めた。 ・東京情報大学看護学部の実習に８名協力した。
３．組織を強化し、運営を円滑に行う	１）運営に関する会議 ２）助産師活動の広報 ３）会員の増加を目指す	・総会を６月に開催した。(会場のみ) ・毎月定例会を開催し、会員全員へ議事録を配信、発送した。LINE グループにて情報共有した ・ホームページを適宜更新、公式 LINE により情報提供をした。リーフレットを改訂、配布した

令和４年度　　第９地区　　活動報告　　№.１

地区名：市原・君津・安房地区　　地区部会長：根岸雄子　　会員数：35 名

１．定例会開催　　年 5 回

２．研修会

開催日	内容	講師
10 月 1 日	座談会　～産後の母子支援に向けて、 乳幼児の成長と発達を促す関わり～	岩田清子助産師

３．行政および関連団体等の会議参加状況は 48 ページを参照。

４．行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
新生児訪問	６名	母親・パパママ教室	５名
乳幼児健診・相談	7 名	予防接種	０名
妊娠・出産・子育てサポート事業	2 名	ベビーマッサージ	２名
産後ケア従事者	10 名	市原市総合防災訓練	４名
いちはら健倖まちづくりプラン	１名		

５．健康教育・講演活動（生と性の健康教育）

対象	回数	講師（実数）
小学校	９回	４名
中学校	８回	３名
高　校	１回	１名
大　学	１回	１名
PTA・保護者	２回	１名
養護施設	１回	１名

６．地区助産師活動

市原市総合防災訓練：10 月 3 日牛久小学校にて参加

産後ケア訪問型：市原・君津地区コーデイネーター担当者会議

市原市：いちはら健倖まちづくりプラン・健康づくり推進協議会・母子保健推進委員会
　　周産期保健調整連絡会議・周産期保健に関する研修会等

安房地域母子保健推進協議会会議

木更津市応急救護活動及び支援に関する協定書（案）作成会議（オンライン開催）

７．その他

令和４年度　　第９地区　　活動報告　　№.２

定例会開催：5 回

目標	事業	結果および評価
１．会員同士の交流を図り、お互いの知識や技術の向上に努める	1）定例会、研修会を開催する 2）会員増加を図る 3）各会員の活動状況を紹介し理解する	・新型コロナ感染拡大防止に鑑み、総会は紙面、ライン等での告知で zoom とした。会員への通達に支障がないよう、役員間の連絡を密にし、書面、メール、ライン等の円滑な活用に努めた。 ・研修会は乳幼児の発達を促す関わりができるよう、産後の母子支援者の知識のアップデートを図るものとした。地区会員間の交流も兼ね講師実績もある会員を講師とし対面開催した。 ・新会員１名入会 ・定例会は感染防止を考慮しズーム開催を取り入れ会員が参加しやすい時間帯や対面の研修会と合わせ会場開催を行った。
２．地域に密着した母子保健活動・健康支援活動を行う	1）各地区の母子保健事業に協力する 2）各地域の産後ケア事業連絡協議会と連携・協力する 3）健康教育活動に協力する 4）各地域の市民祭りに参加協力する 5）各地域の母子保健推進や周産期の委員を務める。	・産後ケアの拡充に向けて、市原・君津・袖ヶ浦・木更津・富津市等の事業が開始となり、各市ケア従事者が定例会時に支援状況を共有した。 ・健康教育講師は教育機関からの依頼で指名を受ける傾向にある。依頼に対応できる講師活動の維持・向上にむけ研修会に参加。 ・新型コロナの影響を受け市原市・木更津市健康祭り等は中止。書面会議となる。
３．支援事業への参加	会員の協力を得て事業への参加・協力を行う	・助産師の電話無料相談（ミッドワイフ千葉）に相談員協力。 ・「国際助産師の日」地区活動・会員紹介スライド作成に向け zoom での集合写真撮影集会をした。
4.災害に備え、体制を整える	1）災害時迅速に対応できる災害対策づくり 2）災害訓練の参加	・10 月 3 日安否確認災害時訓練への参加。 ・ライン・E メール・電話等連絡方法の活用。 ・最低 5 名の災害対策協力員確保している。 ・災害時迅速な安否確認とボトムアップの意識付けにつとめる。 ・他地区での災害イベントに参加、災害時支援マニュアルの改訂に伴い、年１回助産所のフローチャート・物品等見直した。 ・1 月 25 日に木更津市総務部危機管理課・子育て支援課と災害時協定に向け、会長・副会長・災害対策委員長・地区委員・部会長による zoom 会議を行った。

４．専門部会報告

１）助産所部会

２）保健指導部会

３）勤務助産師部会

令和４年度　助産所部会　活動報告

部会長　小柴 和子
委　員　米丸 充咲、進藤 典子

１．部会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5 月 16 日（月） 午前：研修会 午後：定例会 @ 千葉市生涯学習センター	１．助産所部会主催研修会 ２．助産所における業務継続計画策定におけるガイドライン ３．ヒヤリハット報告	・研修会「骨盤ケア」参加者 10 名 講師：米丸充咲(あびこ助産院院長) ・各自ガイドラインをよく読み準備。 ・日本助産師会 HP よりダウンロード可。 ・報告書や IT システム活用 ・各助産所の事例報告	小柴、米丸、進藤、菅谷、田中、根岸、巻田
7 月 25 日（木） 定例会 zoom	１．助産所安全管理評価訪問日程検討 ２．学生実習について ３．ヒヤリハット報告	・8/6 助産院アロマ・バース、8/25 助産院ねむねむ、11/24 キミツナカノ助産院 ・各助産所の学生実習人数、料金、内容 ・各助産所の事例報告	小柴、米丸、菅谷、田中、戸田
8 月 8 日（月） 研修会	助産所部会主催研修会	「骨盤ケア」参加者 6 名(会員 6 名) 「助産所で行われているフリースタイル出産」参加者 7 名(会員 5 名)	小柴、米丸、進藤
8 月 25 日（木）	助産所安全管理評価訪問	助産院ねむねむにて評価訪問	清水、小柴、根岸
9 月 2 日（金） @ 千葉市生涯学習センター	１．報告事項 ２．評価訪問実施報告 ３．情報共有	・ヒヤリハットの報告は無し。 ・8/25 助産院ねむねむに訪問。 ・助産所であった微弱陣痛の経産婦に対する具体的ケアにつき情報交換。	武田会長、小柴、米丸、佐藤、正林、戸田
9 月 28 日（水）	助産所安全管理評価訪問	助産院アロマ・バースにて評価訪問	小柴、米丸、進藤
11 月 21 日(月) 定例会 @ 千葉市生涯学習センター	１．EMIS について ２．推薦助産院 ３．グッジョブ、ヒヤリハット報告について	・災害対策委員長塩見様より登録方法についての説明。 ・助産所の推薦助産院の基準について ・各助産所の事例を報告	塩見、武田会長、小柴、米丸、小野、小林、菅谷、正林、田中、戸田、根岸、巻田、的射場、的場
12 月 9 日(金) 研修会	助産所部会主催研修会	「骨盤ケア」参加者 15 名(会員 10 名) 「助産所で行われているフリースタイル出産」参加者 8 名(会員 6 名)	小柴、米丸
12 月 25 日(水)	助産所安全管理評価訪問	キミツナカノ助産院にて評価訪問	小柴、米丸
12 月 28 日(水) @四ツ谷	一般社団法人日本産婦人科協会(助産師部会)特別講演	旭川市において助産所の嘱託医問題で民事調停が行われ、東京での報告会が行われた。	小柴、米丸、巻田
1 月 23 日(月) 定例会	１．12/28 の報告会 ２．１年間活動計画の振	・12/28 参加者より報告。 ・活動計画を振り返り、来年度の具体的	武田会長、小柴、米丸、進藤、白井、正

zoom	り返り、来年度の目標 3．ヒヤリハット・アクシデント報告	な内容について計画。助産院での分娩を継続していくために、何が必要か活発な意見交換が行われた。 ・2 ヶ所の助産院が報告をあげてくれた。各助産所の事例報告。	林、菅谷、田中、根岸、巻田、的射場、的場

2．令和４年度　部会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1．助産所業務ガイドラインを遵守した助産所運営を行う。	1）安全管理訪問を 3 ヶ所、安全対策委員等と評価訪問を行う。(今年は助産院アロマ・バース、キミツナカノ助産院、助産院ねむねむ) 2）その他の助産院は自己評価したのち定例会又はZoomにて他者評価を行う。 3）1) 2) を集計し、12 月に本部へ提出。	1）新評価表に基づき 1～2 名の役員で、8/25 助産院ねむねむ、9/28 助産院アロマ・バース、12/25 キミツナカノ助産院の評価訪問を行った。2 年毎の体重計検定、嘱託医との契約更新等できていた。 2）自己評価のみとなった。本部からは、なるべく他者評価との指示あり。C 自己評価をつけた助産所もあった。来年度の活動計画にあげた。 3）12 月本部に提出した。
2．会員の IT 利用を促し、分娩、転院、搬送報告が的確に行える。	1）転院、搬送報告書の提出を促す。 2）転院、搬送報告書事例を画面共有にて確認し、内容について意見交換を行う。 3）グッジョブ、ヒヤリハット事例を皆で振り返り検討する。 4）年度末に分娩数(助産所、自宅)の集計を行い報告する。 5）安全対策委員会と協力し、事故、搬送、転院、ヒヤリハット事例報告書作成支援を行う。	1）2）画面共有には至らなかったが、zoom にて意見交換を行い、参加者同士でアドバイスをしあえた。 3）グッジョブ、ヒヤリハットについての研修会を安全対策委員会と研修会を企画し、会員の参加を促した。また、定例会でも、グッジョブ、ヒヤリハットについて皆で報告しあった。報告書作成支援には至らなかった。今後は作成方法について繰り返し周知していく。 4）年度末に分娩数(助産所、自宅)の集計を行い、報告した。
3．助産技術の向上に役立つ研修会を開催する。	1）研修会を企画し数回開催する。 「骨盤ケア」シリーズ 講師　米丸充咲氏　あびこ助産院 5/16(月)対面　定員 10 名 2）情報共有と今後の活動のヒントを得る場とする。	1）研修会を 3 回開催した。「骨盤ケア」「フリースタイル出産」 5/16(月)、8/8(月)、12/9(金)、延べ 46 名の参加 2）対面での研修会を行い、参加者の現在の悩みや不安を共有できた。今後の具体的な研修会のアイデアを得た。

3．次年度（令和５年度）課題

1）　助産所業務のガイドラインの遵守と会員の IT 利用と活用を促す。

2）　嘱託医問題が少しでも改善できるように病院との連携と信頼関係を築く。

令和４年度　保健指導部会　活動報告

部会長　來田美鈴
委　員　小椋利絵　神崎雅子　遠藤隆子

１．部会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5月2日（金）	１．自己紹介 ２．委員の担当 ３．年間計画	・性教育調整係、会計、書記 ・交流会開催について ・保健指導の開業助産所の安全管理指針について	來田、小椋、 神崎、遠藤
7月2日（金）	１．交流会について ２．ＢＣＰについて	・交流会開催日　12月3日（土） ・テーマ「幼児期にみる発達障がいと支援の目安」 ・講師：早津龍之介先生 ・ＢＣＰのガイドラインの内容確認	來田、小椋、 神崎、遠藤
8月5日（金）	１．交流会について ２．ＢＣＰについて	・交流会の事前質問募集について ・ＢＣＰひな形読み合わせ	來田、小椋、 神崎、遠藤
9月2日（金）	１．交流会について ２．ＢＣＰについて	・交流会での事前質問内容確認 ・ＢＣＰひな形読み合わせ	來田、小椋、 神崎、
10月7日（金）	１．交流会について ２．ＢＣＰについて	・交流会のスケジュールと役割分担 ・ＢＣＰの内容検討 ・災害時の部会の連絡方法について	來田、小椋、 神崎、遠藤
11月4日（金）	交流会について	・講師との打ち合わせ ・アンケート作成について	來田、小椋、 神崎、遠藤
11月18日(金)	交流会について	・タイムスケジュール確認 ・アナウンス内容確認 ・アンケート内容確認	來田、小椋、 神崎、遠藤
11月25日(金)	交流会について	・台本内容確認 ・後日配信について	來田、小椋、 神崎、遠藤
12月2日（金）	交流会について	・交流会開催手順最終確認 ・参加者確認	來田、小椋、 神崎、遠藤
12月3日（土）	保健指導部会交流会開催	「幼児期にみる発達障がいと支援の目安」 参加者43名（後日配信含む）	來田、小椋、 神崎、遠藤
12月23日(金)	１．交流会まとめ ２．次年度計画	・アンケート結果確認 ・交流会テーマの決定 （抱っこ＆おんぶについて） ・養子縁組についての学習会	來田、小椋、 神崎、遠藤

1月 20 日（金）	次年度計画	・ベビーウェアリング講師との打ち合わせについて ・次年度予算について	來田、小椋、神崎、遠藤

２．令和４年度　部会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
１．行政や他機関との連携を深め「助産師の産後ケア」普及に努める	１）各自治体へのアプローチ	１）市川市のアウトリーチ型産後ケア開始に向けて、企画の段階から参入した。
	２）広報活動の実施	２）昨年度と同等の活動にとどまった。
	３）産後ケアに関する研修の開　催	３）「幼児期にみる発達障害と支援の目安」を開催した。 後日配信も行い、多くの会員が学べるよう配慮した。
	４）会員同士の情報交換会の開催	４）交流会を開催したが、会員同士の交流の時間が短く、十分な情報交換ができなかった。
２．　保健指導開業助産院（来所型）の安全管理指針を作成する。	１）日本助産師会助産所安全管理指針・助産所安全評価等を参考に、保健指導開業助産院（来所型）の安全管理指針と評価表を作成する	１）今年度は、日本助産師会の助産所におけるＢＣＰ作成ガイドラインが出されたため、安全管理指針作成と合わせ検討したが、今年度に作成することはできなかった。

３．次年度（令和５年度）課題

１）　産後ケアの普及に向けた活動

２）　保健指導開業助産院（来所型）の安全管理指針作成及びＢＣＰ作成の検討

令和４年度　勤務助産師部会　活動報告

委員長　山中　真弓
委　員　大久保　洋子、小野寺　由美子、岸本　優子

１．部会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5 月 14 日（土） メール会議	活動計画について	・活動方針の具体化 ・役割分担 ・大潮原稿について	大久保、小野寺 岸本、山中
7 月 27 日（水） メール会議	活動調査について	・活動調査方針の具体化 ・調査項目の検討	大久保、小野寺 岸本、山中
8 月 15 日（月） メール会議	活動調査について	・調査項目の抽出・検討	大久保、小野寺 岸本、山中
９月９日（金） メール会議	研修会について	・研修会のチラシ作成 ・講師依頼 ・役割分担 ・講師打合せ	大久保、小野寺 岸本、山中
11 月 19 日（土） ZOOM 会議	１．研修会開催 ２．今後の研修会に向けて検討 ３．調査内容検討	・研修会実施・運営 ・１２月研修会に向けて打ち合わせ ・調査項目の相談 ・12 月、２月の研修会に向けて検討 ・チラシ作成 ・講師依頼	大久保、小野寺 山中 （勤務状況により岸本委員は急遽欠席）
１２月 メール会議	研修会開催について	・感染状況を考慮し１２月アロママッサージ研修会の開催を検討、中止の判断をした。	大久保、小野寺 岸本、山中
１２月 メール会議	１．研修会について ２．次年度の活動計画について	・次年度活動計画の検討 ・２月研修会の検討、打合せ ・講師依頼 ・チラシ作成	大久保、小野寺 岸本、山中
１～２月 メール会議 ZOOM 会議	１．研修会について ２．次年度の活動計画について	・２月研修会の打合せ・実施 ・次年度活動計画打ち合わせ	大久保、小野寺 岸本、山中

２．令和４年度　部会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
１．日々の実践に役立つ研修を開催する。	１）11 月 19 日（土） 「アートワークを用いた対象理解のためのコミュニケーション」の開催 ２）12 月 10 日（土）「精油を用いたトリートメント」研修会中止	１)「アートワークを用いた対象理解のためのコミュニケーション研修会」では、参加者が会員５名、非会員２名と少なかった。参加者のフィードバックでは、内容は概ね満足であったが、日々のケアへの活かし方には今一つ工夫がいるとの意見が聞かれた。テーマや企画の明確さに課題が残った。 ２)「精油を用いたトリートメント研修会」は新型コロナウイルス感染拡大が危ぶまれ対面開催を中止とした。
２．勤務部会員同士の交流を図り、会員のニーズや問題点等を把握する。	１）勤務助産師がつながるために会員のニーズの把握をするアンケートについて検討している。	１)内容や項目等の検討をしている段階である。次年度の実施に向け詳細を詰めていく。
３．切れ目のない産前・産後支援に向けて、勤務助産師と地域との連携を図る。	１）「地域とつながる研修会」開催に向けての打合せ・実施 ２月２６日（日） 第１部「切れ目ない支援のために、勤務助産師と連携したいこと」～地域で働く助産師として～ 第２部「産後うつなどメンタルケアが必要な対象者や精神疾患を抱えた対象者と生活する妊産婦への支援に向けて、助産師と訪問看護との連携を考える」	１）切れ目ない支援のために、勤務助産師と地域で活躍している助産師との連携に向けて、研修会を企画した。地域における産後の訪問活動の進め方やシステムについて勤務助産師が知っておきたいことについて講師に伺い、病院での退院支援に役立てる。 また、産後うつなどメンタルケアが必要な対象者や精神疾患を抱えた対象者と生活する妊産婦への支援に向けて、助産師と地域で活躍する訪問看護師との連携についてディスカッションする機会を持ち、協働の在り方を探る。

３．次年度（令和５年度）課題

１）日々の実践に役立つ研修を開催する。

２）勤務助産師がつながるために、勤務助産師のニーズを知る。

３）切れ目のない産前・産後支援に向けて、勤務助産師と地域との連携を図る。

５.委員会活動報告

１）教育委員会

２）子育て委員会

３）安全対策委員会

４）災害対策委員会

５）広報委員会

６）将来構想検討委員会

７）細則検討委員会

８）生と性の健康教育委員会

令和４年度　教育委員会　活動報告

委員長　山田万希子
委　員　片桐いずみ，玉野あや乃，古賀千恵子，
石井恵美子，五十部恵

１．委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
４月 29 日（金） Zoom	１．委員連絡先・交通経路の確認 ２．委員任期確認 ３．2022 年度研修会分担表（案）・研修会費について ４．今後の予定	・委員の紹介と任期確認、連絡先と交通経路確認 ・各委員の役割分担を確認と規定に沿って研修会費の確認 ・6 月 5 日（日）NCPR S コース実施の役割分担他確認	山田万希子 片桐いずみ 玉野あや乃 古賀千恵子 石井恵美子 五十部恵 東亜紀（前委員長）
5 月 27 日（金） Zoom	１．6 月 5 日㈰ NCPR S コース確認 ２.教育委員会業務内容確認 ３．今後の予定	・6 月 5 日（日）NCPR S コース実施の役割分担他最終確認 ・地区報告集作成の印刷依頼 ・9 月 18 日（日）午前・午後研修について	同上
6 月 5 日（日） 対面	１.NCPR S コース実施と振り返り ２．今後の予定	・NCPRS コースの実施 ・NCPR S コース実施後振り返りと次回に向けて	同上
7 月 1 日（金） Zoom	１．9 月 18 日㈰　研修会　最終確認 ２.日本助産師会会員管理システムの利用について ３．NCPR 参加人数	・9 月 18 日研修会役割り分担 ・日本助産師会会員管理システムの利用の実施の方向 ・NCPR 参加人数の増加は難しい。研修会の回数を増やすのも難しい。人数の検討。	山田万希子 玉野あや乃 古賀千恵子 東亜紀（前委員長）
9 月 10 日（土） Zoom	１．9 月 18 日㈰　研修会　再最終確認 ２．11 月 20 日㈰ NCPR 講習 B コース打ち合わせ ３．今後の予定	・9 月 18 日研修会役割り分担資料の確認 ・募集開始、サブインストラクターについて ・2023 年 1 月 29 日（日）研修の役割・実施計画の確認	山田万希子 片桐いずみ 玉野あや乃 古賀千恵子 石井恵美子 東亜紀（前委員長）
９月 18 日（日） Zoom	１．AM 研修会 ２．PM 研修会	・研修会実施 AM　研修会「歯周病と早産リスク」 PM　研修会「子宮頸がん予防」 ・研修実施後、振り返りと今後の計画実施確認	同上

11 月 20 日（日） 対面	１．NCPR 講習 B コースの実施 ２．今後の予定	・研修実施 ・研修実施後、振り返りと今後の計画実施確認	同上
12 月 23 日（金） Zoom	１．　今後の研修計画について ２．次年度研修計画	・1 月 29 日（日）研修会中止の連絡 研修中止の説明と対応について ・2 月 5 日（日）NCPR S コース実施の役割分担他最終確認	同上
2 月 5 日（日） 対面	１．2 月 5 日（日） NCPR S コース実施 １．次年度研修計画	・NCPRS コース実施 ・NCPR 実施後振り返りと次回に向けて	同上

２．令和４年度　委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
１．助産師の継続教育として必要な研修会を開催する	１）体系化した教育計画を立案する ２）受講者のニーズを満たす研修会内容や研修方法を工夫する ３）実施した研修会が継続教育に有効であったかを評価する	１）教育に関する研修計画は立案された。1 つ研修は次年度に持ち越すこととなった。次年度に計画を立案する。 ２）前年度、好評であった研修は少し内容を変更して再度実施した。受講者の反応は良かったが、受講人数は思ったほど増えなかった。検討する必要があると考えられた。 ３）研修は最新のデータを活用した講義であり、継続教育に有効であると考えられた。
２．コロナ禍に対応可能な研修会の年間計画を立案・実施する	１）他部会及び委員会と連携した体系的な教育計画を実施する ２）社会情勢を踏まえ、立案した教育計画を速やかに修正し運営する ３）実施した研修会が継続教育に有効であったかを評価する	１）他部会や委員会との連携は研修会計画を立案する際に考慮したが、それぞれの研修会の日程調整は講師の都合等で配慮が難しいと考えられる。早めの打ち合わせが必要。 ２）対面での研修はコロナ禍を考慮し、感染対策に配慮しながら行った。講義の研修は Zoom を活用した。 ３）NCPR 講習、講義による研修は助産師の継続研修として有効なものであったと評価する。
３．遠隔による効果的な委員会活動を実施する	１）委員会メンバーの役割分担を整備し実施する ２）ZOOM、LINE、mail を使用し委員会メンバー間で情報共有する	１）研修会前の会議において、必ず役割分担を確認し実施した。 ２）会議は Zoom を活用することが多かったが、Zoom によって委員会メンバーが集まりやすく、会議がスムーズに進行出来た。

３．次年度（令和５年度）課題

１）研修会の募集を 2 か月以上前にする。

２）研修会後のアンケートを基に助産師会員の要望や必要とする研修会を企画・運営する。

令和４年度　子育て委員会　活動報告

委員長　杉山亜希
委　員　佐々木明代　根本由起子　細谷美聡
武藤真衣　大石怜

１．委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
6 月 1 日（水） 第 1 回委員会	・電話転送トラブルの対応 ・交流会について ・事例について	・電話相談用親機のキャリア変更に伴う転送操作の変更、マニュアル作成 ・交流会進捗状況確認と役割分担 ・リピーター情報の共有	佐々木、根本、杉山 細谷、武藤、大石
7 月 1 日（金）	交流会事前確認	・zoom 事前テスト ・交流会当日の流れの確認	佐々木、根本、杉山 細谷、武藤、大石
7 月 3 日（日）	zoom オンライン 交流会	・電話相談リピーター情報の共有 ・上記事例についてのグループワークを含む意見交換	佐々木、根本、杉山 細谷、武藤、大石
8 月 1 日（月） 第 2 回委員会	・研修会について	・テーマ選択、候補日、講師決定講師依頼についての調整等	佐々木、根本、杉山 武藤、大石
9 月 2 日（金） 第 3 回委員会	・研修会について ・事例について	・テーマ決定、企画書の確認と共有 ・新たなリピーター情報の共有 ・ケースカンファレンス	佐々木、根本、杉山 武藤、大石
10 月 12 日（水） 第 4 回委員会	・研修会について ・次年度の電話相談事業について	・現在の電話相談の状況報告 ・進捗状況の確認と役割分担等 ・マニュアル作成、協力員募集の用紙等の今後の予定と話し合い	佐々木、根本、杉山 武藤、大石
11 月 7 日（月） 第 5 回委員会	・研修会について	・講師との事前打ち合わせ報告、進捗状況確認と当日の確認事項	佐々木、根本、杉山 大石、武藤
11 月 27 日（日）	zoom オンライン 研修会	『電話相談におけるメンタルヘルスケア』～非対面式で行う相談～	佐々木、根本、杉山 細谷、武藤、大石
12 月 7 日（水） 第 6 回委員会	・次年度マニュアルと協力員募集について	・マニュアル作成役割分担 ・協力員募集用紙の大潮封入 ・メーリングリストによる募集依頼	佐々木、根本、杉山 大石
1 月 12 日（木） 第 7 回委員会	・次年度の電話相談事業の準備確認	・協力員募集の状況の共有 ・フライヤー印刷状況報告	佐々木、根本、杉山 大石
2 月 10 日（金） 第 8 回委員会	・次年度の電話相談事業の準備確認	・電話相談担当表の共有と確認 ・マニュアル編集確認と印刷依頼 ・県内市町村へ配布に伴うフライヤーの準備作業（2 月中）	佐々木、根本、杉山 細谷、武藤、大石
3 月	・次年度に向けて ・6 地区へ引継ぎ	・大潮封入に合わせてマニュアル等の配布とフライヤーの郵送作業 ・令和 5 年度担当の 6 地区へ引継ぎ	佐々木、根本、杉山 細谷、武藤、大石

２．令和４年度　委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
１.円滑な電話相談事業システムへの取り組み	１）持続可能な安定した電話相談事業の運営 （１）柔軟で安定した運営システムの確立（リマインドメールの活用、相談員同士の協力体制の強化） （２）適宜、地区連絡係を通して相談員間の情報共有を行う。 （３）相談事業運営の見直し（相談内容、時間、ルール等） ２）毎年継続していけるような安定した相談員の確保 （１）繰り返し、会員全体への相談登録への呼びかけ （２）研修会などを通し、会員が電話相談事業へ関心を向け、社会的にも重要な役割であるという意識が持てるよう図る。 ３）地域との連携、開業助産院や他機関との連携 （１）紹介した助産院には、情報提供し連携を図る。	・今年度は 49 名で担当することになった。 ・年間通しての電話相談件数は 1083 件。 ・担当忘れ防止策として、子育て委員がリマインドメールを送ることで、今年は担当忘れの報告はなかった。 ・今年から親機の携帯会社が途中で変更になったため、マニュアルの作り替えや担当者のうち 23 名が親機からの転送操作が必要となり、委員の作業業務の負担が増えた。 ・年度途中での転送設定の変更で相談員へも負担が生じたが、柔軟に対応してもらえたので大きな設定トラブルはなく継続して電話相談の運営が行えた。 ・広報紙「大潮」やメーリングリストを活用し会員向けに情報発信をした。 ・交流会や地区連絡係を通して情報の共有を図った。 ・非通知設定電話を受けないことが周知され、いたずら電話の報告はなかった。 ・相談内容に応じて、保健センターへつなぐケースがあった。
２．相談員の質向上及びメンタルヘルスに努める	１）相談員が積極的に協力できる環境を整える。 （１）交流会などを通じ、各々が抱える不安や対応スキルの情報交換をしていくことで個々のスキルアップと不安解消に努める。 （２）重たいと感じる相談や、困ったと感じる相談について情報を共有し、相談員のメンタルフォローに努める。 （３）電話相談の限界を理解し、電話相談では解決できない場合は他機関との連携をした支援をする。	・交流会と研修会を行い、相談員同士の情報の共有や電話相談の特性を踏まえた、具体的な対応や相談員自身のセルフマネージメントについての研修会を行った。 事後アンケートでも評価をいただける感想を多くいただいた。 ・相談員から直接対応の仕方で困ったケースの相談があり、情報を共有し相談員のメンタルフォローを行った。

３．次年度（令和５年度）課題

１）円滑な電話相談事業システムの取り組み

２）相談員の質向上及びメンタルヘルスに努める

令和４年度　安全対策委員会　活動報告

委員長　清水清美
委　員　小柴和子・來田美鈴・山中真弓・
吉岡由紀子・的場晴美

１．委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
６月 14 日（火） 第 1 回会議 （zoom 開催）	１．報告事項 ２．検討事項	・役割確認 ・7 月 3 日研修会（役割確認） ・安全管理評価訪問の予定 ・産後ケアの感染対策	吉岡・小柴・來田・ 山中・的場・清水
６月 28 日（火） 第 2 回会議 （zoom 開催）	１．報告事項 ２．検討事項	・7 月 3 日研修会（役割確認） ・安全管理評価訪問の予定 ・産後ケアの感染対策	吉岡・小柴・來田・ 山中・的場・清水
7 月 3 日（日） 研修会開催① （zoom 開催）	ZOOM 研修会開催	テーマ「世界の医療安全　～今、世界標準で行われていること～」 講師：帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科教授・梁善光氏（参加者 28 名）	吉岡・小柴・來田・ 山中・的場・清水
7 月 19 日（日） 第 3 回会議 （zoom 開催）	１．報告事項 ２．検討事項	・7 月 3 日研修会報告 ・感染対策マニュアルの作成 　アウトリーチ型の感染対策案作成 ・助産所評価訪問	吉岡・小柴・來田・ 山中・的場・清水
8 月 25 日（日） 評価訪問①	評価訪問	助産院ねむねむ	小柴・清水
9 月 26 日 第 4 回会議 （zoom 開催）	１．報告事項 ２．検討事項	・評価訪問報告 ・上半期ヒヤリハット報告 ・研修会企画	吉岡・小柴・來田・ 山中・的場・清水
9 月 28 日 評価訪問②	評価訪問	助産院アロマバース	小柴・（米丸）
10 月 24（月） 第 5 回会議 （zoom 開催）	１．検討事項	・研修会企画 　①インシデント・アクシデント報告を書く 　②鈴木麗香氏を講師とした研修会　企画	吉岡・小柴・來田・ 清水
11 月 8 日（火） 第 6 回会議 （zoom 開催）	１．確認事項	・11 月 23 日　研修会最終確認	吉岡・小柴・來田・ 的場・清水
11 月 23 日（水） 研修会開催② （zoom 開催）	ZOOM 研修会開催	テーマ「インシデント・アクシデント報告の意義」講師：倉敷中央病院・医療安全管理者・塩津昭子氏（参加者 19 名）	吉岡・小柴・來田・ 的場・清水
12 月 25 日 第 7 回会議	１．研修会・打ち合わせ	・研修会企画会議　講師と打ち合わせ	小柴・鈴木
12 月 26 日 評価訪問③	評価訪問	キミツナカノ助産院	（米丸）

1 月 18 日（水） 第 8 回会議 （zoom 開催）	1．報告事項 2．検討事項	・1 月 28 日研修会最終確認 ・次年度の年間予定	吉岡・小柴・來田・的場・清水
1 月 28 日（土） 研修会開催③AM 研修会開催④PM （zoom 開催）	ZOOM 研修会開催 1．報告事項 2．検討事項	テーマ「妊娠・出産・産後の安全を考える」講師：かもめ助産院 院長・神奈川県助産師会副会長・安全対策委員長　鈴木令佳氏（参加者 30 名） テーマ「インシデント・アクシデント報告の意義」講師：倉敷中央病院・医療安全管理者・塩津昭子氏（参加者 21 名）	吉岡・小柴・來田・的場・清水
2 月 1 日（火） 第 9 回会議 （zoom 開催）	1．報告事項 2．検討事項	1．　研修会振り返り 2．　研修会延長企画 3．2022 年度活動報告・2023 年度活動計画	吉岡・小柴・來田・的場・清水

２．令和４年度　委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1．事故･搬送･転院事例・ヒヤリハット事例の報告が的確に行える	1）インシデント・アクシデント報告の理解と実施	1）研修会を 4 回開催し、インシデント・アクシデント報告の意義およびその方法を会員に告知した。 2）各部会長の呼びかけもあり、zoom 研修会であったが、各回 20 から 30 名の参加者があった。更に参加できなかった会員のために、研修会の動画を期間限定で配信をして、会員の意識向上を図った。 3）下半期のインシデント・アクシデント報告は、助産所部会からインシデント・アクシデント報告 4 件、保健指導部会から 1 件、勤務部会からは 0 件であった。
2．助産所安全管理評価を助産所部会と共同で実施できる	1）助産所安全管理評価」を実施し、評価･改善点･気づき等を共有し、助産所部会長が本部に報告した。	1）予定助産所 3 件 助産院ねむねむ、助産院アロマバース、キミツナカノ助産院を助産所部会米丸氏の協力を受け実施、改善点をアドバイスした。（詳細は助産所部会報告を参照）
3．母乳育児支援・産後ケアの在り方が向上できる		1）covid-19 における産後ケア 対象者が感染の確認ができない場合、同居する家族の感染が確認できない場合におけるケア基準を、本部から依頼され、専門家に確認し手順書を作成・報告した。

３．次年度（令和５年度）課題

1）事故・搬送・転院事例・ヒヤリハット事例の報告が的確に行える。

2）助産所安全管理評価を助産所部会と共同で実施できる。

3）安全対策の視点で、母乳育児支援・産後ケアの在り方が向上できる。

4）保険加入への推進を図る。

令和４年度　災害対策委員会　活動報告

委員長　塩見　良子
委　員　金子　真理恵　　鈴木　香里　　西宮　慎子

１．委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
6 月 9 日（木） 武田助産院	第１回役員会	・今年度の予定 ・九都県市合同防災訓練について ・シミュレーション訓練について他	金子、鈴木、西宮 武田会長、塩見
6 月 19 日（日） ZOOM	第１回委員会	・今年度の予定 ・九都県市合同防災訓練について ・シミュレーション訓練について ・支援協力員、協力助産院の確認他	足立、田邊、伊東、西宮、金子、進藤、鈴木、武田会長、塩見
9 月 12 日（月） 武田助産院	第２回役員会	・九都県市合同防災訓練について ・シミュレーション訓練について ・講演会について　　他	金子、鈴木、塩見
9 月 25 日（日） ZOOM	第２回委員会	・九都県市合同防災訓練について ・シミュレーション訓練について ・講演会について ・各地区の防災訓練の確認　　他	足立、田邊、伊東、西宮、金子、進藤、鈴木、武田会長、塩見
1 月 12 日（木） 武田助産院	第３回役員会	・シミュレーション訓練の反省 ・九都県市合同防災訓練の反省 ・令和５年度総会資料の確認 ・講演会の準備　　他	金子、西宮、鈴木、武田会長、塩見
1 月 22 日（日） ZOOM	第３回委員会	・シミュレーション訓練の反省 ・九都県市合同防災訓練の報告 ・講演会の準備 ・令和５年度総会資料の確認 ・災害時支援登録の確認　　他	足立、田邊、伊東、西宮、石毛、金子、進藤、鈴木、武田会長、塩見

２．令和４年度　委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
１．全地区の情報共有を図る	１）通常定例会及び必要に応じ臨時会議を開催する。 ２）各地区との情報の収集や共有、また問題発生時には解決に努める。	１）通常定例会はZOOMにて３回開催。 ２）委員会グループ LINE やメールにて常時、情報共有はできた。
２．災害時の初動動作に有効なシミュレーションを検討し、準備実施をする。	１）シミュレーションができる災害時訓練への参加を促す。 ２）改定後の災害時マニュアルの熟読を推進する。 ３）災害時支援協力員・協力助産院の確保に努める。 ４）全員への周知を目指し各地区にて災害時連絡網を整備する。 ５）初動動作が円滑にできるよう、災害対策本部の役割の細部まで検討し、シミュレーション訓練を実施する。	１）実災害時に応じたシミュレーション訓練を行なった。 ２）各地区でマニュアルの読み合わせをし、災害時の行動を確認した。 ３）協力助産院、協力員ともに呼びかけ、増加している。 ４）会員全員への周知は、地区委員が努力しているが難題である。今後も呼びかけをしていく必要がある。 ５）細部の改善点が見えてきた。反省点を来年度に生かしていく。
３．日本助産師会・近隣都道府県助産師会との連携を図り、協力体制を構築できるように努める。	１）日本助産師会主催及び他機関主催の災害対策研修へ参加する。 ２）研修会等で、近隣助産師会の災害時支援の連携について検討し合い、顔の見える関係を築くことができるように努める。 ３）近隣助産師会による支援協力を受ける時の手順を考える。	１）千葉県主催のリエゾン講習へ参加した。 ２）日本助産師会主催の研修会へ参加し、他県と意見交換することができた。 ３）今年度も研修会がZOOMだったため、顔の見える関係づくりはできなかった。今後の課題である。
４．地域の災害対策事業に参加する。	１）市町村との災害時支援協力を図る。（災害時支援協定） ２）災害時支援協定締結後の市町村との細部の活動を確認する。 ３）地域の防災訓練に参加し、助産師活動をアピールする。 ４）千葉県リエゾンへ積極的に参加し、リエゾンの一員としての役割を果たすことができるように努める。	１）３月柏市との協定が締結。他市からも連絡があったが、現在検討中。 ２）所属地区にて話し合いを実施できている所もあるが、できていない所もある。今後、積極的に働きかけていく。 ３）各地区にて防災訓練が再開し、参加している。 ４）有床助産院が広域災害救急医療情報システム(EMIS)への登録を完了した。今後、リエゾンとの連携を図ることができる。リエゾン研修会開催。

２．次年度（令和５年度）課題

１）各市町村との災害時支援協定の締結

２）災害時の他県や他機関との連携

令和４年度　広報委員会　活動報告

委員長　山本裕子
委　員　佐藤靜子、齋藤明子、佐藤幸江

１．委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5 月 6 日（金）	大潮 38 号原稿依頼	・各委員会 ・東洋羽毛広告	佐藤靜子
6 月 5 日（日）	１．原稿締め切り ２．編集作業開始	・メール、ライン会議 ・執筆者へメールで原稿確認	広報委員 4 名
6 月 19 日（日）	イロドリ入稿、入金	・500 部発注	山本、齋藤
7 月 19 日（月）	大潮 38 号発行 第 1 回委員会	・発送作業 ・大潮 39 号内容・日程の検討 ・発送依頼	広報委員 4 名、庶務 佐藤副会長、事務
7 月 19 日（月）	１．HP 掲載依頼	・武田企画へメールで依頼	齋藤
10 月 1 日（土）	大潮 39 号原稿依頼	・各委員会 ・東洋羽毛広告	佐藤静子、佐藤幸江
10 月 20 日～ 11 月 1 日	大潮 39 号校正編集	・メール、ライン会議 ・執筆者へメールで原稿確認	広報委員
11 月 7 日	イロドリ入稿、承認確認、入金	・500 部発注	山本、佐藤靜子
12 月 9 日（月）	大潮 39 号発行 第 2 回委員会 HP 掲載依頼	・発送作業 ・大潮 40 号内容・日程の検討 ・武田企画へメールで依頼	広報委員、庶務、教育委員石井さん、山田さん 佐藤副会長、事務
1 月 7 日（土）	大潮 40 号原稿依頼	・各委員会	佐藤静子、山本
1 月 28 日 ～2 月 15 日	大潮 40 号校正編集	・メール、ライン会議 ・執筆者へメールで原稿確認	広報委員
2 月 24 日（金）	イロドリ入稿、承認確認、入金	・500 部発注	齋藤明子、佐藤幸江
3 月 13 日（月）	大潮 40 号発行 第 3 回委員会	・発送作業 ・大潮 41 号内容・日程の検討	広報、庶務、子育て
3 月 14 日（月）	HP 掲載依頼	・武田企画へメールで依頼	齋藤明子

２．令和４年度　委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
１．計画的、効率的に大潮発行活動に取り組む	1) 年間計画を作成し大潮を年３回発行する。 2) 原稿依頼・編集・発送に関して手順・役割分担をマニュアル化し、効率的に大潮を作成する。	・カラー判の大潮 38 号、39 号、40 号が計画通り発行できた ・マニュアル４月に更新した。 ・新しいメンバーが加入してもマニュアルによりスムーズに業務に取り組めた。 ・事務員さんのお陰で、集荷や発送がスムーズになった。
２．コロナ禍の現在、大潮を通して、会員へ助産師会の活動を広報する	1) 大潮の内容は、千葉県助産師会の事業や研修会の情報などを記載し、会員に配布する。 2) ホームページとメーリングリストの活用について広報する。	・写真を多用した紙面で、助産師会の活動の様子を広報した。興味を引く工夫ができた。 ・報告のみでなくコロナ禍で活動する会員の様子を伝えた。
3.大潮やリーフレットを通して、他機関へ千葉県助産師会の活動を広報する	1) 大潮の内容は、千葉県助産師会の事業や研修会の情報などを掲載し日本助産師会及び他機関へ送付する。 2)千葉県助産師会ホームページに大潮を掲載する。 3) 各地区のイベントで、リーフレットを活用してもらう。	・庶務と連携し、「大潮」を日本助産師会、病院、クリニック、保健所等関係諸機関へ送付した。 ・千葉県助産師会の HP に大潮を掲載した。 ・予備の「大潮」の活用として理事・地区会長に５部ずつ配布 ・関係機関へ訪問時、持参し手渡しして助産師会の活動をアピールしていただく
4.活動の写真を、保存・整理する	1)使用した写真はデータとして整理し、保存する。	・USB と GoogleDrive に保存している。
5.コストについて検討	１）発行回数について検討 ２）協賛広告について検討	・現在、コロナ禍でイベントの活動が自粛し減少しているため、発行も２回で良いのではないかとの意見があり検討中。 ・東洋羽毛の協賛広告が得られた。

３．次年度（令和５年度）課題

１）委員への業務負担軽減

２）発行回数やページ数についての検討

令和４年度　将来構想検討委員会　活動報告

委員長　武田智子
委　員　佐藤美保子　増田美恵子
小柴和子　來田美鈴　山中真弓

１．委員会開催状況
運営会議および理事会で検討した。

２．令和４年度　委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
１．社会のニーズを把握し、助産師会活動に反映する。	１）国・県・市町村から発信された情報を収集する。 ２）関連機関との連携を促進し、情報収集に努める。 ３）情報を運営会議や理事会で共有し、事業展開について検討する。 ４）必要に応じて助産師会独自、県及び市町村による事業展開に向けた準備に着手する。	１）行政・関連機関の会議や話し合いに参加することによって情報収集し、会員へ通知した。 ２）千葉県看護協会と産前産後ケアに関する意見交換会を行った。 ３）収集した情報を運営会議や理事会で共有し、新型コロナ対策、災害支援等における活動に活用した。 ４）産後ケア事業やウイルスに感染した妊産婦への寄り添い型支援事業については、円滑な実施のために千葉県に協力した。今後、周産期に特化した訪問看護ステーションについて検討する予定である。
２．会員の増加に努めると共に、潜在しているマンパワーの把握と育成の提案を行う。	１）会員の増加に努める。 （目標：370 名） ２）会員の活動調査内容を把握し、必要な情報を発信する。 ３）会員の育成に必要な研修会を提案する。	１）会員数 370 名（年度末退会予定者を除く、２月 17 日現在の会員数） ２）会員の活動内容を把握し、必要な情報は「大潮」や HP、ML で発信した。 ３）安全対策に関する研修会を含めて、会員に必要な研修会の提案を行い、コロナ禍での研修会の開催方法についても検討したが、委員会や部会の研修会日程の調整ができていなかったことから、次年度に向けて、研修会日程の調整を行った。
３．事務所の管理・運営の安定化を図る。	１）事務所の活用を図るため、管理・運営方法を見直す。 ２）事務員の雇用の維持・安定化を図る。 ３）事務所移転を考慮する。	１）事務所の管理・運営方法を検討した。機密および個人情報の守秘に関する覚書を取り交わし、個人情報保護のために必要な物品の整備を行った。 ２）事務員の雇用を維持し、安定している。 ３）事務所移転については引き続き検討していく。

４．助産所の存続と発展に向けた活動を行う。	１）助産所（有床・無床）の減少を最小限にし、継続・発展するために後継者の育成を図り企画を協議する。 ２）助産所分娩施設の安全を守り、継続的に経営が成り立つために連携医療機関・嘱託医の確保に努める。 ３）各専門部会（助産所部会・勤務助産師部会・保健指導部会）の会員の意見を収集し、専門職としての意見を県市町村に反映する。 ４）活発に運営している県外を含めた助産所（助産、保健指導、訪問看護）施設見学、講話等を通して学ぶ。	１）分娩を取り扱う有床の助産所数の減少はないが、無床の助産所数は２か所減少した（有床９か所、無床２か所）。後継者の育成や助産院の存続に向けた話し合いは今後も継続していく。 ２）連携医療機関・嘱託医の確保については、引き続き努力していく。 ３）各専門部会の会員の意見は部会集会等で収集し、意見交換や情報収集をすることができた。 ４）助産施設の見学は出来なかったが、研修会で講師から県外を含めた助産所の状況を聴くことができた。
５．地区部会の入会者を増やし、地区部会活動への参加を促す。	１）各地区部会の母子保健活動に関する情報を収集し整理する。 ２）全ての会員が該当地区部会に所属し、地区部会活動に参加する機会を得られるよう促す。	１）理事会等で共有し、情報交換の機会を持つことができた。 ２）新会員へは入会パンフレットを用いて周知し、地区部会にも必ず入会するよう促した。
６．専門部会間の連携を強化して組織活動を展開する。	１）３部会集会を開催し、部会間の連携を図る。 ２）３部会に共通したテーマについて検討する機会をもつ。 ３）病医院、助産所、地域で働く助産師が連携する方法を他の組織団体とも協力を得ながら探る。	１）今年度は、３部会集会は開催しなかった。 ２）３部会に共通したテーマである、インシデント・アクシデント報告や妊娠・出産・産後の安全について研修会を開催して、活発な討議ができた。 ３）研修会等では病医院、助産所、地域で働く助産師が連携できた。

３．次年度（令和５年度）課題

１）社会の変化やニーズを把握し、助産師会活動に反映する。

２）会員増加に努めるとともに、マンパワーの把握と育成の提案も行う。

３）事務所の管理・運営の安定化を図る。

４）助産院の存続と発展に向けての活動を行う。

５）地区部会の入会者を増やし、地区部会活動への参加を促す。

６）専門部会間の連携を強化して組織活動を展開する。

令和４年度　細則検討委員会　活動報告

委員長　武田智子
委　員　佐藤美保子　増田美恵子　理事

１．委員会開催状況
理事会で審議事項として検討した。

２．令和４年度　委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
１．定款および細則の見直しを適宜行う。	１）総会において、定款を改正する。 ２）地区集会やホームページを通し、会員への周知を図る。 ３）定款と細則の見直しを行う。	１）令和４年度は定款改正を行わなかったが、令和５年度の総会にて定款改正を行う予定である。 ２）定款はホームページ等にて周知を図った。 ３）次回の改正に向けて、定款および細則の見直しを行った。細則は、理事会に改正案を提示して、改正を行った。
２．各専門部会・各委員会の規程作成および活動マニュアル作成の取り組みを支援する。	１）各委員会の規程を適宜見直す。 ２）規程が作成されていない委員会には規程案の作成を支援する。 ３）各部会や委員会の役割を明確にし、規程および活動マニュアル作成の取り組みを支援する。	１）選挙運営規程と推薦委員会規程を見直し、改正した。その他の委員会の規程については、見直しを継続する。 ２）規程案作成についての支援は、継続中である。 ３）各部会や委員会の規程および活動マニュアル作成についての支援は、今後行っていく予定である。
３．規程集を作成する。	１）既存の規程を適宜見直す。 ２）本会の活動に必要な規程があれば、新たに作成する。 ３）それぞれの規程を規程集としてまとめる。	１）選挙運営規程と推薦委員会規程を見直したが、その他の規定も今後見直していく予定である。 ２）今年度に新たに作成した規程はないが、必要な規定を検討中である。 ３）規定をまとめるべく、規程を確認中である。

３．次年度（令和５年度）課題
１）定款・細則の見直しを行う。
２）各部会・委員会の活動規定および活動マニュアルの作成を支援する。
３）規程集を作成する。

令和４年度　生と性の健康教育委員会　活動報告

委員長　小路和子
委　員　増田文子　伊藤志保　鶴岡利江子　狛千恵子
齋藤葉子　川島広江　根岸雄子

１．委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
４月 14 日(木) LINE・メール会議	１．講師料について ２．HP 変更について	・各地区の現状を共有し、今後千葉県助産師会としてどう提示していくか検討 ・議題１の結果によって HP も変更する必要がある	増田・伊藤・鶴岡 狛・川島・根岸・小路
6 月 2 日（木） Zoom 会議	１．講師料について ２．研修について	・当日の講師料、交通費 ・別日の対面での打合せの場合、費用、交通費をどう提示するか検討 ・７月１７日（日）10 時～12 時 Zoom で開催	増田・伊藤・鶴岡 川島・小路
6 月 20 日(木) Zoom 会議	１．研修準備 ２．各地区の現状まとめ	・当日の進行、役割分担確認 ・健康教育の依頼、実施の方法、保護者の参観はあるか、講師以外の助産師が見学することは可能か。各地区の現状を共有した	増田・伊藤・鶴岡 根岸・小路
メールにて取りまとめ	各地区の現状まとめ	・状況把握 ・問題点について検討	増田・伊藤・鶴岡 狛・齋藤・川島 根岸・小路
7 月 17 日(日)	研修	テーマ 母子保健に活かす “国際セクシュアリティ教育ガイダンス”の理解 ① 国際セクシュアリティ教育ガイダンスと母子保健　川島 ② 行政との打ち合わせの機微　増田 ③学校との打ち合わせの機微　鶴岡	増田・伊藤・鶴岡 狛・川島・根岸・小路
8 月 5 日（金）	第 50 回記念全国性教育研究大会 分科会「外部機関と連携した性教育」	テーマ ひとりひとりの“いのち=生と性”を守り育むために ～緩やかなダイアローグを繰り返しながら～ 提案者　川島広江	川島・増田・鶴岡 小路
10 月 3 日(月)	１．中間報告 ２．各地区の現状まとめ	・今年度前期のまとめ ・後期の活動について	増田・伊藤・鶴岡 川島・根岸 小路

メールでの取りまとめ	各地区現状のまとめ	・状況把握	増田･伊藤･鶴岡狛･齋藤･川島･根岸・小路
12 月 28 日（水）	来期研修について	・研修の目的、内容の検討	増田･伊藤･鶴岡狛・川島・根岸小路
１月８日（日）	１．活動報告 ２．活動計画 ３．研修について	・今年度の総括 ・次年度計画	増田･伊藤･鶴岡狛・川島・小路

２．令和４年度　委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
１．「生と性の健康」の意義･必要性について会員の理解を深める	1）研修会・交流会を開催する （1）6 月 26 日（日）オンライン研修会を開催する テーマ「母子保健に活かす“国際セクシュアリティ教育ガイダンス”の理解」 2）ニュースレターの活用をすすめる	１）研修会を開催した。 7 月 17 日(日)オンライン研修 32 名参加 内容をまとめ、ニュースレターを発行し、参加できなかった会員にも周知した。
2.「生と性の健康教育」の方略を検討する	1）引き続きコロナ禍の「新しい日常」で様々な課題を抱える中で、今後も健康教育を実施・継続していけるよう図る	１）昨年度から引き続き、各地区の現状について情報交換し、実施方法の工夫や学校との交渉、各地区それぞれの抱える課題についても話し合った。 学校ではほぼ対面で学年全員の講座ができるようになった一方で、クラス毎の開催やオンライン講座を希望する学校もあり、講師側も様々な方法に対応できるスキルを身につける必要があった。 後進の育成については、地区内では講座の見学ができるようになり、今後希望者を募っていく。

３．次年度（令和５年度）課題

１）様々な課題がある中で、助産師が健康教育を実施・継続していくための方略を検討する。

２）「助産師が行う健康教育」について会員の意識を深められるよう図る。

６．表彰および福祉事業報告

＜令和４年度＞

厚生労働大臣表彰

路野　富子　　様
足立　千賀子　　様

日本家族計画協会会長表彰

増田　文子　　様
川田　まゆみ　　様
新森　永遠路　　様

千葉県看護功労者知事表彰

川島　広江　　様

千葉県母子保健事業功労者知事表彰

伊藤　志保　　様

公益社団法人日本助産師会会長表彰

小野寺　由美子　様
増田　文子　　様
巻田　則子　　様

７．行政および関連団体等への会議参加状況

地区	会議名
千葉県助産師会全体	千葉県母性衛生学会理事会
	千葉県医療推進協議会
	千葉県母子保健検討会
柏･野田・我孫子・流山・松戸	柏市思春期関係者会議
	柏市保健衛生審議会母子保健専門分科会
	柏市立教育研究所　乳幼児保健懇話会
	松戸市母子保健連絡協議会
	松戸保健所母子保健推進協議会
	松戸市子ども子育て会議
	松戸市防災会議
	我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議
市川・浦安	市川市 STD 対策推進協議会
	社会福祉協議会評議員会
	浦安市子ども家庭支援センター養育訪問支援会議
	浦安市健康増進課症例検討会
	市川保健所母子健康推進会議
船橋	船橋市要保護児童及び DV 対策地域協議会代表者会議
	船橋市地域保健推進協議会母子保健部会
	船橋市地域災害医療対策会議
習志野・八千代・鎌ケ谷	八千代市思春期保健ネットワーク会議
	八千代市第 2 次まちづくりプラン策定会議
	八千代市妊娠・出産関連機関連絡会
	八千代市産後ケア連絡会議
	習志野市防災会議
	習志野市社会教育委員会議
印旛	印旛健康福祉センター運営会議
	印旛地域保健医療連携・地域医療構想調整会議
	印旛地区母子健康推進協議会
	成田市赤ちゃん訪問連絡会
	災害協力運営会議（佐倉市・成田市・八街市）
	産後ケア訪問事業協議会 （佐倉市・四街道市・成田市・印西市・八街市・酒々井町）
香取・海匝・山武	香取市保健所母子保健推進協議会
	山武健康福祉センター管内母子保健連絡会議
	山武保健所母子保健推進協議会
千葉	千葉市地域保健医療協議会
	千葉市健康づくり推進協議会
	千葉市保健所運営協議会
	健やか未来都市ちばプラン推進協議会
	千葉地域医療構想調整会議
市原・君津・安房	いちはら健康まちづくりプラン
	周産期保健に関する連絡調整会議
	市原健康福祉センター母子保健推進協議会
	君津健康福祉センター母子保健推進協議会
	君津健康福祉センター産後ケア連絡調整会議・事業の推進
	安房母子保健推進協議会

８．令和４年度　千葉県助産師会の動向

月　日	内　容
4 月 3 日	第 1 回運営会議
4 月 6 日	千葉県立保健医療大学入学式
4 月 10 日	第 1 回理事会
4 月 17 日	第 1 回三役会
4 月 29 日	一般社団法人千葉県助産師会通常総会（オンライン）
4 月 29 日	第 2 回理事会
5 月 12 日	関係機関への挨拶（千葉県医療整備課・児童家庭課、千葉県医師会、千葉県小児科医会、千葉県産婦人科医学会）
5 月 21 日～ 6 月 5 日	「国際助産師の日」のつどい　2022“地域で支えよう　愛を伝える子育て”（オンライン）
5 月 22 日	第 2 回三役会
5 月 27 日	公益社団法人日本助産師会　第 94 回通常総会
5 月 28 日	公益社団法人日本助産師会　第 77 回日本助産師学会（オンライン） 5 月 30 日～6 月 30 日オンデマンド配信
5 月 29 日	武田企画とホームページの話し合い
6 月 5 日	第 2 回運営会議
6 月 13 日	法務局へ書類提出
6 月 19 日	第 3 回理事会
6 月 21 日	市川市との産後ケアの話し合い
7 月 15 日	第 38 号 大潮の発送
7 月 27 日	公益社団法人日本助産師会　都道府県助産師会代表者会議（オンライン）
8 月 7 日	第 3 回三役会
8 月 16 日	八千代市との産後ケアの話し合い
8 月 17 日	千葉県医療整備課および児童家庭課への要望書提出
8 月 19 日	船橋市との産後ケアの話し合い
8 月 21 日	第 3 回運営会議
8 月 27 日	千葉県医療推進協議会
9 月 4 日	第 4 回理事会
10 月 3 日	災害時初動動作シミュレーション訓練
10 月 22 日～ 23 日	公益社団法人日本助産師会　南北関東地区研修会 11 月 1 日～15 日オンデマンド配信
10 月 23 日	九都県市合同防災訓練（千葉県大網白里市）
10 月 29 日	公益社団法人日本助産師会　南北関東地区代表者会議
10 月 30 日	第 4 回三役会
10 月 31 日	市川市との産後ケアの話し合い
11 月 3 日	中間監査
11 月 5 日	公益社団法人日本助産師会　災害委員会オンライン連携集会
11 月 6 日	第 4 回運営会議
11 月 19 日	武田企画とホームページの話し合い

月　日	内　容
11 月 20 日	第 5 回理事会
11 月 30 日	公益社団法人日本助産師会　都道府県助産師会代表者会議
12 月 9 日	第 39 号 大潮の発送
12 月 25 日	第 5 回三役会
1 月 7 日	公益社団法人千葉県医師会新年会
1 月 8 日	第 5 回運営会議
1 月 17 日	スタジオアリス話し合い
1 月 21 日	第 2 回母子保健検討委員会
1 月 22 日	第 6 回理事会
1 月 25 日	木更津市と災害支援協定に向けた話し合い
2 月 12 日	千葉県母性衛生学会理事会
2 月 18 日	公益社団法人日本助産師会　安全対策小委員会連携集会
2 月 19 日	第 7 回理事会
2 月 19 日	第 6 回三役会
2 月 23 日	千葉県災害時小児周産期リエゾン研修会
2 月 23 日	公益社団法人日本助産師会　南北関東地区代表者会議
2 月 27 日	公益社団法人千葉県看護協会との意見交換会
3 月 5 日	第 6 回運営会議
3 月 16 日	公益社団法人日本助産師会　都道府県助産師会代表者会議
3 月 9 日	千葉県立保健医療大学卒業式
3 月 13 日	第 40 号 大潮の発送
3 月 12 日	第 7 回理事会
3 月 31 日	令和 4 年度　会計監査、事業監査

９．令和４年度　メーリングリスト配信状況報告

年	月	内 容
R4年	4	「いのちの講座」開催のご案内
		【事務連絡】新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置等の期限延長について
		【事務連絡】医療法施行規則等の一部を改正する省令の公布について
		【通知】医療法施行令の一部を改正する政令等の施行について
		【事務連絡】再編計画に係る不動産取得税の課税標準の特例措置について
		【事務連絡】不妊症・不育症患者や流産・死産を含む子どもを亡くした家族に対する情報提供等について
		令和3年度一般社団法人千葉県助産師会通常総会　追加資料
		千葉県助産師会通常総会のご案内
		【通知】「ヒト受精胚に遺伝情報改変技術等を用いる研究に関する倫理指針」及び「ヒト受精胚の作成を行う生殖補助医療研究に関する倫理指針」の一部改正について（通知）
		【事務連絡】「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所、養成施設の対応及び実習施設への周知事項について」
		実習施設に係るワクチン接種やPCR検査等の取扱いについて（周知）
		令和4年度「看護の日・看護週間」行事開催のご案内
		【お知らせ】最近の医療安全施策に関する動画資料について
		【事務連絡】医療用手袋の備蓄品の試行的売却について
		千葉県助産師会ホームページの助産所紹介ページ掲載について
	5	研修会のご案内　6/5 NCPR　Sコース
		千葉県助産師会　国際助産師の日の集い2022 のお知らせ
		教育委員会主催　NCPRスキルアップコース （残り7名）
	6	【お知らせ】第78回日本助産師学会のオンデマンド配信のご案内
		日本助産師会総会式典録画視聴について
		【事務連絡】医療用手袋の備蓄品の試行的売却について
		【事務連絡】看護師の特定行為研修に係る申請・届け出等様式の電子化及び運用について
		安全対策委員会研修会のご案内
		生と性の健康教育委員会Zoom研修のご案内
		【第1回助産所部会集会のご案内】　6月24日（金）
		【ご案内】2022年度第1回日本助産師会保健指導部会集会
		【ご案内】2022 年度厚生労働省委託事業：不妊症・不育症ピアサポーター等の養成研修 _ 事業専用サイト公開
		助産所、嘱託医師等並びに地域の病院及び診療所の間における連携について（再周知）
		令和４年度母子保健指導者研修会のご案内
		【再送】令和４年度母子保健指導者研修会のご案内（申し込みは千葉県助産師会まで）
		【ご協力のお願い】機関誌『助産師』読者アンケート
		【周知依頼】救急蘇生法の指針2020（市民用）の有効活用及び周知等について
		【募集開始のご案内】 2022年度日本助産師会主催研修会
		千葉県助産師会　助産所部会研修会のご案内
		【事務連絡】出産育児一時金等の受取代理制度の届出について
	7	【ホームページ公開のご案内】 子どものための包括的性教育実践助産師育成事業
		【通知】医療事故情報収集等事業69回報告書の公表について
		【通知】厚生労働省組織令及び厚生労働省組織規則の一部改正に伴う医政局の組織再編等について
		【研修のご案内】9/18AM「知っていますか？歯周病と早産リスク　ー妊娠中の歯科診療と禁煙支援のポイントー」
		【研修のご案内】9/18PM「最新！子宮頸がん予防　ーワクチン接種を考えている母娘に向けての助産師ができることー」
		【事務連絡】新型コロナウイルス感染症の抗原定性検査キットの供給について
		令和5年度「児童福祉週間」の標語募集について
		【研修プログラム公開】包括的性教育実践助産師育成事業
		日本助産師会主催研修のご案内
		【情報共有】「大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について」の発出について
	8	千葉県不妊・不育オンライン相談について
		【事務連絡】医療機関等への支援に関する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
		【通知（内閣府）】R4年度女性に対する暴力をなくす運動について
		【要請】新型コロナウイルス感染症に係る医療機関・保健所からの証明書等の取得に対する配慮に関して
		【事務連絡】令和4年度院内感染対策講習会について
		【研修のご案内(再送)】9/18　教育委員会主催研修会のご案内
		令和４年度第４回母子保健指導者研修会について
		【ご協力のご依頼】日本助産師会ホームページについてのアンケート
		日本助産師会「開業助産師ラダーⅠ承認制度」について
		2022年度第1回勤務助産師部会集会のご案内
	9	【事務連絡】オンライン申請用QR コード付きマイナンバーカード交付申請書の送付に関する周知について
		千葉県助産師会 第一地区研修会のお知らせ
		【ご協力のお願い】機関誌『8月号助産師』読者アンケート
		千葉県公衆衛生学会の演題募集について
		千葉県助産師会　助産所部会研修会のご案内
		千葉県助産師会　勤務助産師部会研修会のご案内
		千葉県助産師会市川・浦安地区講演会のご案内
		【事務連絡】新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更について
		【事務連絡】地方創生臨時交付金の活用について
		【事務連絡】令和４年度院内感染対策講習会「講習会②」の受講申込期間の延長について
		【ご案内】2022年度第2回日本助産師会保健指導部会集会
		千葉県助産師会ホームページ助産所紹介欄の更新について
		【事務連絡】令和４年台風第14号による災害の被災者に係る妊婦健康診査等の各種母子保健サービスの取扱い等について

年	月	内容
R4年	9	【事務連絡】令和４年台風第14号による災害の被災者に係る児童福祉法による助産の実施について
		令和４年度一人ひとりに応じた健康支援事業「保健医療従事者等研修会」の開催について（通知）
		【千葉県 医療整備課】令和４年度院内感染対策講習会「講習会②」の受講申込期間の延長について
		千葉県助産師会千葉地区「こころのじゅんび教室」のご案内
		令和4年度児童虐待防止に関する母子保健担当者研修（Ⅰ部）のご案内
		【事務連絡】「病院、診療所等の業務委託について」の一部改正について
		【事務連絡】令和４年度最低賃金額の改定に関する周知・広報の実施等について
	10	再送【ご案内】2022年度第 2 回日本助産師会保健指導部会集会
		第18回「医療安全大会」開催のご案内
		【事務連絡】妊婦がその身元情報を医療機関の一部の者のみに明らかにして出産したときの取扱いについて
		【通知】「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律の一部の施行について」の一部改正等について
		【ご案内】助産所部会・保健指導部会・勤務助産師部会対象　第2回助産所部会集会
		【通知】医療事故情報収集等事業第70回報告書及び2021年年報の公表について
		【研修案内】教育委員会主催　研修「新生児蘇生法　Bコース」
		千葉県助産師会保健指導部会交流会のご案内
		【千葉県助産師会　子育て委員会】研修会のお知らせ
		【再送】千葉県助産師会　助産所部会研修会のご案内
		周産期医療機関看護管理者研修会のご案内
		医療安全推進週間について
		児童虐待防止に関する母子保健担当者研修Ⅱ部の開催について
		薬剤耐性（AMR）対策推進月間について
		再送 【ご案内】助産所部会・保健指導部会・勤務助産師部会対象　第2回助産所部会集会
		母性健康管理に関する周知・啓発資料について
		【通知】令和４年度乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間の実施について
		【事務連絡】「職場における検査等の実施手順（第３版）」の周知について及び、【事務連絡】「職場における積極的な検査等の実施について（報告依頼）」の廃止について
		再送【ご案内】2022 年度第 2 回日本助産師会保健指導部会集会
		代議員・予備代議員選挙（11月14日～18日）について
		【再送】勤務助産師部会の研修会お知らせ
	11	千葉県助産師会 安全対策委員会 研修会のご案内
		【再送】教育委員会より研修会のご案内（11月20日NCPR講習Bコース）
		【再送】千葉県助産師会 子育て委員会 研修会のご案内
		【情報提供】令和４年度第２次補正予算案　母子保健対策関係予算案の概要について
		【事務連絡】オミクロン株対応ワクチンの接種促進のための更なる取組推進について
		【再送】千葉県助産師会 安全対策委員会 研修会のご案内
		【事務連絡】令和４年度院内感染対策講習会の配信開始について
		令和4年度看護職員業務従事者届について
		【千葉県医療整備課】今秋以降の感染拡大に備えた感染対策について（依頼）
		包括的性教育事業−教育イベント（12/23）の案内チラシについて
		令和４年度アレルギー疾患対策研修会のご案内
		【千葉県助産師会 子育て委員会】研修会のご案内（11月24日まで申込み期限延長）
		【12/2(金)、12/7(水)開催】令和4年度医療機関等に対する児童虐待対応研修の御案内について
		【事務連絡】産後ケア事業における安全管理の推進について
		【12/20(火)開催】令和4年度児童虐待防止に関する母子保健担当者研修Ⅲ部の御案内について
		【事務連絡】医療事故調査制度の普及・啓発に関する協力依頼について
		千葉県助産師会　勤務助産師部会研修会「精油を用いたトリートメント基本編」開催中止のお知らせ
	12	【研修のご案内】教育委員会主催「家族と赤ちゃんの響き合うこころを支える」
		スタジオアリス　マタニティーセミナーのご案内
		【ご案内】2022年度第2回勤務助産師部会集会
		「家族と赤ちゃんの響き合うこころを支える」研修会中止のお知らせ
		【子育て委員会】令和5年度「助産師の電話無料相談」協力員へのご協力のお願い
		【事務連絡】「生徒指導提要」（改訂版）に係る周知依頼について
		【お願い】開業助産師ラダー（案）意見公募へのご協力のお願い
		【日本助産師会通常総会/日本助産師学会ポータルサイト公開のお知らせ】 第79回日本助産師学会一般演題募集します
		【千葉県 医療整備課】医療機能情報提供制度に係る定期報告について
		【千葉県 医療整備課】医療機関における情報セキュリティ対策について（注意喚起）
		【千葉県 医療整備課】令和４年度院内感染対策講習会の配信開始について
		【通知】母子健康手帳の任意記載事項様式について
		【通知】母子保健法施行規則の一部を改正する省令等の公布について
		【通知】医療事故情報収集等事業第71回報告書の公表について
		【事務連絡】出産・子育て応援交付金事業への協力について
R5年	1	【子育て委員会】令和5年度『助産師の電話無料相談』協力員へのご協力のお願い
		【ご案内】2022 年度第 3 回日本助産師会保健指導部会集会
		第34回ちば思春期研究会のご案内
		【研修のご案内】2月5日NCPR講習Sコース
		勤務助産師部会研修会のご案内
		【広報ページ公開のお知らせ】厚生労働省委託事業「2022年度不妊症・不育症ピアサポーター等の養成研修」
		日本助産師会主催研修会のご案内

＊　令和5年1月14日 現在　会員378名中メーリングリスト登録者256名

＊　その他、役員用メーリングリスト、理事用メーリングリストにて役員、理事間での情報提供、周知に活用しています。

10．令和４年　事業部実績報告（1 月～12 月）

【委託事業実績（出産前教室委託事業）】

事業名	スタジオアリス マタニティセミナー	我孫子市 「しあわせママパパ学級」
実施回数 （回）	24	36

【市町村産後ケア委託事業：訪問型】

市町村名	松戸市	野田市	八千代市	市原市	木更津市	君津市	袖ケ浦市	富津市
延べ受託件数 （件）	42	8	46	22	5	40	4	3

11. 令和４年度　千葉県助産師会事業への協力

地区　　事業	助産師の電話無料相談	国際助産師の日（オンライン）
柏･野田・我孫子・流山・松戸	7	オンライン開催のため、 各地区で動画作成の協力
市川・浦安	4	
船橋	6	
習志野・八千代・鎌ケ谷	9	
印旛	5	
香取・海匝・山武	3	
千葉	11	
市原・君津・安房	4	
合計	49 名	

12. 資料・主な統計

１．研修会実績報告

２.助産師の電話無料相談統計（ミッドワイフ千葉）

３．健康教育活動報告

４．生と性の健康教育活動実績

５．助産所分娩数（自宅分娩を含む）

６．災害対策活動報告

７.「国際助産師の日」のつどい報告

８．要望書

１．令和４年度　研修会実績報告

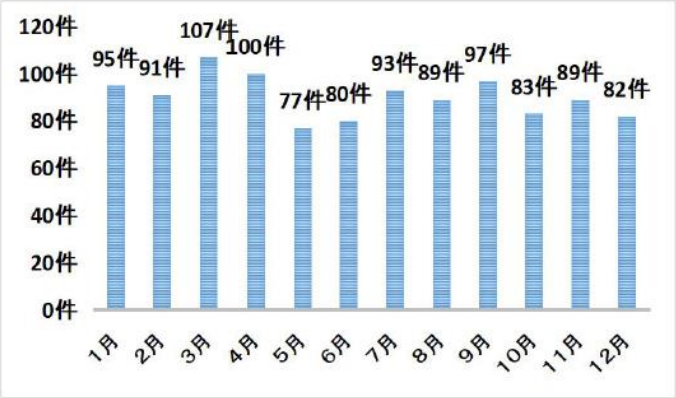
研修会名 （募集人員）	研修内容	講師	開催日時	開催方法	受講者数
【教育委員会】 地区報告会	各地区の実践報告	5.6.7.9地区	7月	大潮で送付	
【助産所部会】 骨盤ケア	産後の骨盤ケア	米丸充咲先生 あびこ助産院	5月16日 （月）	対面	会員8名 非会員 2名
【教育委員会】 NCPR　Sコース①	NCPRスキルアップ認定講習	玉野あや乃先生他 さんむ医療センター 成田赤十字病院 伊能 小百合先生	6月5日 （日）	対面	会員８名 非会員 ４名
【安全対策委員会】 最新の世界標準の医療安全について　ー今、世界標準で行われていることー	最新の世界標準医療安全の概説 医療安全のルール　実行するためのツールや分析方法	梁　善光先生 帝京大学ちば総合医療センター	7月3日 （日）	ZOOM	会員30名 非会員 4名
【生と性の健康教育特別委員会】 母子保健に活かす“国際セクシャリティ教育ガイダンス”の理解	国際セクシャリティ教育ガイダンス母子保健 行政との打合せの機微 学校との打合せの機微	川島広江先生 増田文子先生 鶴岡利江子先生	7月17日 （日）	ZOOM	会員32名
【助産所部会】 骨盤ケア	産後の骨盤ケア	米丸充咲先生 あびこ助産院	8月8日 （月）	対面	会員5名
【助産所部会】 フリースタイル出産	助産院で行われているフリースタイル出産	小柴和子先生 キミツナカノ助産院	8月8日 （月）	対面	会員4名 非会員 2名
【教育委員会】 知っていますか？歯周病と早産リスク　ー妊娠中の歯科診療と禁煙支援のポイントー	妊婦の口腔内の変化 妊娠性歯周炎と早産 妊産婦に対する禁煙支援	滝川雅之先生 三宅ハロー歯科	9月18日 （日） AM	ZOOM	会員12名 非会員 2名
【教育委員会】 最新！子宮頸がん予防　ーワクチン接種を考えている母娘に向けて助産師ができることー	HPVワクチンの現在	上田豊先生 大阪大学大学院	9月18日 （日） PM	ZOOM	会員15名 非会員 1名
【勤務助産師部会】 周産期のメンタルヘルスケア	アートワークを用いた対象理解のためのコミュニケーション	倉石聡子先生 appconcept代表	11月19日 （土）	ZOOM	会員2名 非会員 2名
【教育委員会】 Bコース新生児蘇生法	「一次」コース	玉野あや乃先生他 さんむ医療センター 成田赤十字病院 伊能 小百合先生	11月20日 （日）	対面	会員0名 非会員 4名
【安全対策委員会】 「インシデント・アクシデント報告の意義」「インシデント・アクシデント報告の手順」	日本助産師会へのインシデント・アクシデント報告を目的とした研修	塩津昭子先生 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 清水清美先生 安全対策委員会	11月23日 （日）	ZOOM	会員20名
【子育て委員会】 電話相談におけるメンタルヘルスケアー非対面式で行う相談ー		成田赤十字病院 臨床心理係/公認心理師 橘 稚佳子先生	11月27日 （日）	ZOOM	会員39名

研修会名 （募集人員）	研修内容	講師	開催日時	開催方法	受講者数
【助産所部会】 骨盤ケア	分娩に役立つ骨盤ケア	米丸充咲先生 あびこ助産院	12月9日 （金）	対面	会員9名 非会員 6名
【助産所部会】 フリースタイル出産	助産院で行われているフリースタイル出産	小柴和子先生 キミツナカノ助産院	12月9日 （金）	対面	会員7名 非会員 2名
【保健指導部会】 保健指導部会交流会	幼児期にみる発達障害と支援の目安	早津龍之介先生 国際医療福祉大学 成田病院	12月3日 （土）	ZOOM	会員46名 当日23名 後日23名
【勤務助産師部会】 精油を用いたトリートメント 基礎編	精油の取扱い ハンドケアの実際 フットケアの実際	清水清美先生 松尾尚美先生 城西国際大学	12月10日 （土）	対面	開催中止
【安全対策委員会・保健指導部会】 妊娠・出産・産後の安全を考える	千葉県の安全対策 神奈川県の安全対策の取り組みから学ぶ	鈴木令佳　先生 かもめ助産院 院長 日本助産師会　助産所部会委員	1月28日 （土） AM	ZOOM	会員35名 非会員 １名
【安全対策委員会】 「インシデント・アクシデント報告の意義」「インシデント・アクシデント報告の手順」	日本助産師会へのインシデント・アクシデント報告を目的とした研修	塩津昭子先生 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 清水清美先生 安全対策委員会	1月28日 （土） PM	ZOOM	会員21名
【教育委員会】 家族と赤ちゃんの響きあうこころを支える	コロナ禍の周産期メンタルヘルス マタニティ・ブルーズブルーズ 産後うつ病	大橋優紀子先生 城西国際大学	1月29日 （日）	ZOOM	開催中止
【教育委員会】 NCPR　Sコース②	NCPRスキルアップ認定講習	玉野あや乃先生他 さんむ医療センター 成田赤十字病院 伊能 小百合先生	2月5日 （日）	対面	会員6名 非会員 6名
【災害対策委員会】 小児周産期リエゾンの役割、知っていますか？－災害母子を守るために－	助産師は、災害時母子を守るために、どのように病院や行政などと連携していったらいいのか？	戸石悟司先生 成田赤十字病院	2月25日 （土）	ZOOM	会員37名
【勤務助産師部会】 地域とつながるケアのために	第１部「切れ目ない支援のために、勤務助産師と連携したいこと」～地域で働く助産師として～ 第２部「産後うつなどメンタルケアが必要な対象者や精神疾患を抱えた対象者と生活する妊産婦への支援に向けて、助産師と訪問看護の連携を考える」	加藤睦先生 千葉県助産師会 芳賀宏佑先生 おもだか訪問看護ステーション所長	2月26日 （日）	ZOOM	会員6名 非会員 1名

２．令和４年　助産師の電話無料相談　統計　　2022 年 1～12 月

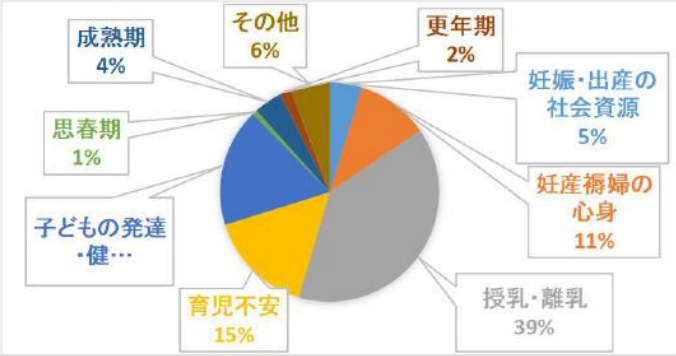
1．月別相談件数

1月	95件
2月	91件
3月	107件
4月	100件
5月	77件
6月	80件
7月	93件
8月	89件
9月	97件
10月	83件
11月	89件
12月	82件
合計	1,083件



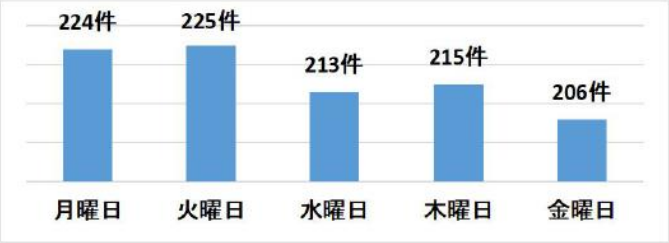
2、相談内容

妊娠・出産の社会資	52件
妊産褥婦の心身	116件
授乳・離乳	423件
育児不安	169件
子どもの発達・健康	189件
思春期	8件
成熟期	45件
更年期	18件
助産師のケア	1件
その他	62件
合計	1,083件



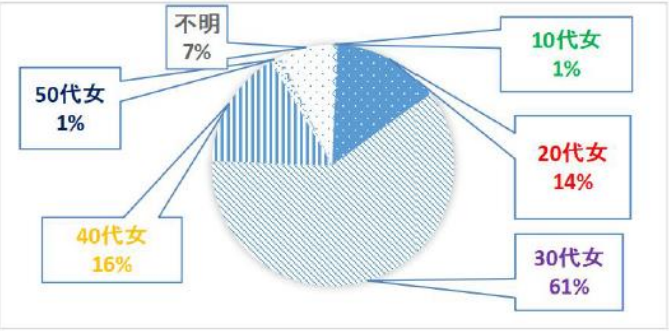
3．曜日別相談件数

月曜日	224件
火曜日	225件
水曜日	213件
木曜日	215件
金曜日	206件
合計	1,083件



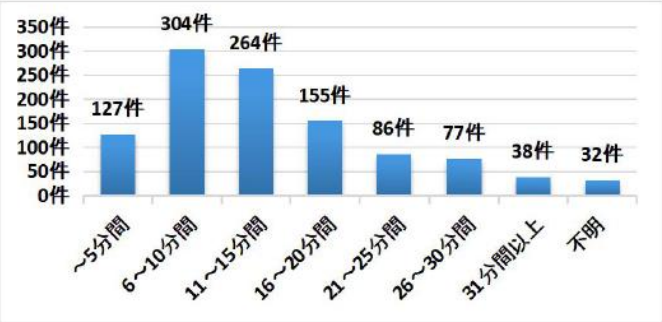
4．相談者背景

10代女	8件
20代女	154件
30代女	656件
40代女	173件
50代女	10件
60代女	5件
70歳以上女	1件
男	0件
不明	76件
合計	1,083件



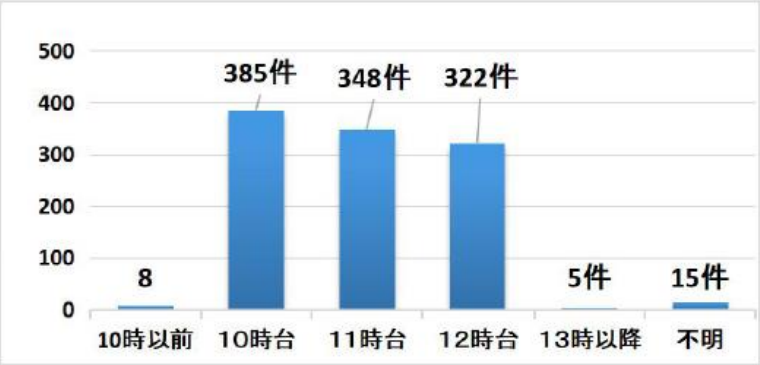
5．相談時間

～5分間	127件
6～10分間	304件
11～15分間	264件
16～20分間	155件
21～25分間	86件
26～30分間	77件
31分間以上	38件
不明	32件
合計	1,083件



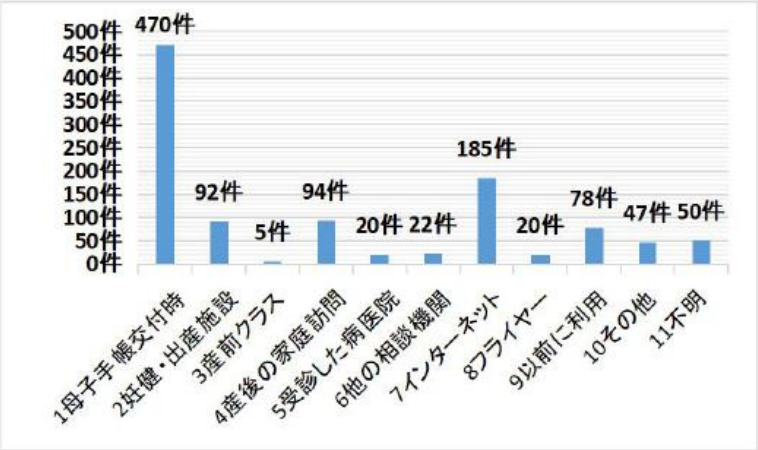
6. 相談時間帯

10時以前	8
10時台	385件
11時台	348件
12時台	322件
13時以降	5件
不明	15件
合計	1,083件



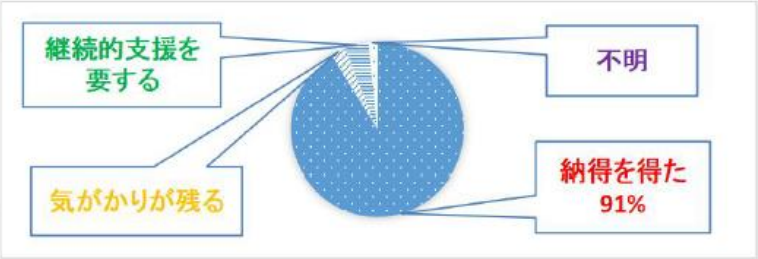
7. 電話相談を知ったきっかけ

1母子手帳交付時	470件
2妊健・出産施設	92件
3産前クラス	5件
4産後の家庭訪問	94件
5受診した病医院	20件
6他の相談機関	22件
7インターネット	185件
8フライヤー	20件
9以前に利用	78件
10その他	47件
11不明	50件
合計	1,083件



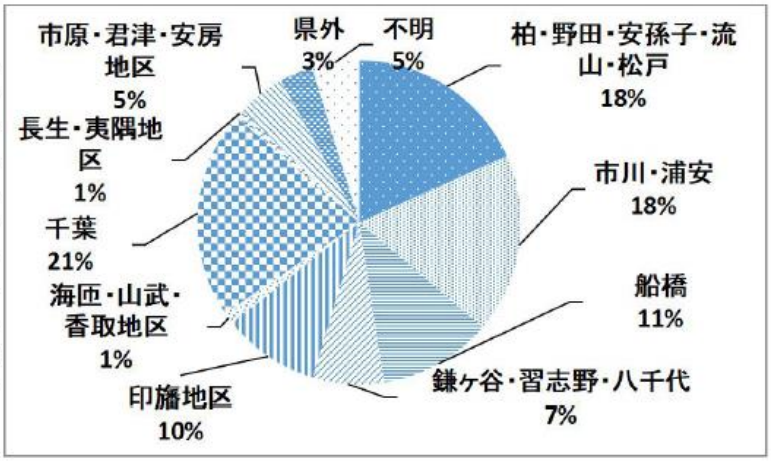
8. 相談後の評価

納得を得た	987件
気がかりが残る	30件
継続的支援を要する	48件
不明	18件
合計	1,083件



9. 相談者の所在

柏・野田・安孫子・流山・松	198件
市川・浦安	194件
船橋	123件
鎌ヶ谷・習志野・八千代	77件
印旛地区	105件
海匝・山武・香取地区	13件
千葉	224件
長生・夷隅地区	10件
市原・君津・安房地区	52件
県外	36件
不明	51件
合計	1,083件



３．令和４年　健康教育活動報告　　2022 年 1 月～12 月

1. 実施回数

●対象者		1地区	2地区	3地区	4地区	5地区	6地区	7地区	9地区	合計
就学前		0	0	0	1	0	0	0	0	1
小学校		63	25	0	45	7	8	22	9	179
中学校		40	17	50	14	11	4	35	8	179
高等学校		3	0	1	1	0	0	7	1	13
特別支援学校	小学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学部	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	高等部	0	1	0	0	0	0	3	0	4
PTA・保護者		5	1	0	12	1	1	7	2	29
大学・専門学校		0	0	0	0	0	0	29	1	30
社会人		0	0	0	1	1	0	13	0	15
教員		1	3	0	0	0	1	2	0	7
その他	公民館・女性センター等	2	4	0	8	0	0	9	0	23
	保健師など専門職	0	0	0	2	0	0	2	0	4
	その他	0	1	0	28	0	0	0	1	30
合計		114	54	51	112	20	14	129	22	516

2. 依頼者

●依頼者		1地区	2地区	3地区	4地区	5地区	6地区	7地区	9地区	合計
学校・幼稚園・保育園		100	44	0	66	15	13	79	12	329
PTA・保護者		5	3	0	5	0	0	13	2	28
市町村等行政団体（保健所・保健ｾﾝﾀｰ等）		9	5	21	8	1	1	5	3	53
その他	教育委員会	0	1	0	0	3	0	20	5	29
	フリースクール	0	0	0	28	0	0	0	0	28
	子育て支援団体	0	0	0	3	0	0	0	0	3
	専門職	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	成人知的・精神障害者施設	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	その他主催	0	1	0	0	0	0	7	0	8
合計		114	54	21	112	20	14	124	22	481

延べ人数

●対象者		1地区	2地区	3地区	4地区	5地区	6地区	7地区	9地区	合計
就学前		0	0	0	10	0	0	0	0	10
小学校	1年生	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	2年生	262	65	0	0	0	0	3	0	330
	3年生	194	0	0	57	0	0	31	0	282
	4年生	623	0	0	132	0	0	378	196	1329
	5年生	1195	1744	0	2426	0	0	471	117	5953
	6年生	2605	550	0	1033	413	116	247	10	4974
中学校	1年生	1524	517	0	535	137	81	0		2794
	2年生	821	1033	668	565	231	0	1177	324	4819
	3年生	3664	638	2,549	568	965	0	2935	456	11775
高等学校	1年生	486	0	369	0	0	0	0	2	857
	2年生	614	0	0	771	0	0	0	4	1389
	3年生	297	0	0	0	0	0	0	6	303
特別支援学校	小学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学部	0	11	0	0	0	0	0	0	11
	高等部	0	78	0	0	0	0	126	0	204
PTA・保護者		980	276	0	860	9	12	218	6	2361
大学生・専門学校生		0	0	0	0	0	0	280	218	498
社会人		0	0	0	25	7	0	402	0	434
教員		697	221	164	509	0	3	118	0	1712
その他	公民館・女性センター	67	0	0	54	0	0	0	0	121
	保健師など専門職	0	0	0	60	0	0	46	0	106
	その他	0	42	106	149	0	0	68	0	365
合計		14029	5175	3856	7754	1762	212	6501	1339	40628

(注)実施件数と依頼者数に違いがあることについては実績報告内で理由を述べる。

４．令和４年　生と性の健康教育活動実績

１．登録講師

千葉県助産師会登録講師は昨年と同じ 46 名であった。【表 1】

２．生と性の健康教育件数

１）講演回数は、総数　516　回

そのうち小学校・中学校がともに 179 回で一番多かった。今年は大学生・専門学校生への講演が昨年度 4 回から 30 回、保護者が 11 回から 29 回と大幅に増加した。その他の内訳はフリースクールが 28 回、成人知的・精神障害者が 1 回である。

２）講演参加者総数　40628 人であった。

３）千葉県助産師会のホームページの講師依頼の申し込みフォームの件数は 28 件であった。

（依頼総数件 516 のうち約 5,4%が申込みフォームからの依頼であった。）

with コロナの世の中で、学校でも修学旅行や林間学級をはじめ様々な行事が「感染対策を行いながら実施」という方向になった。健康教育の依頼数も「コロナ以前と同様になった」という地区が多く、【表 2】のように、実施数はコロナ以前を上回った。開催方法も対面式で、学年全員を体育館に集めてという従来の形で行うことが多くなっている。オンラインやハイブリッドでの開催は少なくなっており、コロナ以外の理由で「夏に熱中症予防のために」というところもあった。また、対面の学校では、様々な理由で学校に来られない生徒がオンラインで参加している様子が見られた。

保護者の参観は、2 学期以降可能となった学校が増えてきた。一方で、未だ不可の学校や、生徒は対面・保護者はオンラインというところもある。地区によっては「市内の実施状況を見て」と学校独自の判断ができていなかったり、学校側は参加を呼びかけたのに保護者の方が希望しないというところもあった。助産師会としては生徒と保護者が一緒に話を聞くことでのメリットを伝え、推奨していきたいと考える。

保護者の参観が始まったことから、地区内では助産師の見学も可能になった。今後講師を希望する会員のかたはぜひ参加頂きたい。

※健康教育活動報告において実施数と依頼者数が違うことについて

・3 地区では「赤ちゃん講座」という体験型の講座があり、1 校の依頼でもクラスがたくさんあるので、数日にわたって複数回実施しているため。

・7 地区では千葉市助産師会主催の講座があるため。

【表 1】登録講師数

地区名	講師数(人)
1地区	4
2地区	5
3地区	4
4地区	7
5地区	12
6地区	4
7地区	5
9地区	5
その他	0
合計	46

【表 2】実施回数と参加者数

	回数				参加者数			
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
就学前	3	2	1	1	45	33	10	10
小学校	151	138	145	179	12244	9388	9696	12869
中学校	160	54	127	179	23340	6124	16358	19388
高等学校	20	5	9	13	4721	1599	2179	2549
特別支援学校	6	2	6	6	66	104	98	215
大学生他	23	4	4	30	1435	87	389	498
PTA･保護者	40	31	11	29	4547	1573	1064	2361
社会人	45	17	48	79	1327	925	1623	2738
	448	235	351	516	47726	19833	31417	40628

５．令和４年　県内助産所分娩数　統計（1 月～12 月）

月 場 所	助産院	自宅	合計
1 月	8	4	12
2 月	6	4	10
3 月	5	1	6
4 月	9	1	10
5 月	7	1	8
6 月	4	0	4
7 月	9	0	9
8 月	8	1	9
9 月	10	2	12
10 月	7	0	7
11 月	4	0	4
12 月	6	1	7
合計	83	15	98

６．令和４年度　千葉県助産師会　災害対策活動

〈九都県市合同防災訓練〉

6/10～8/5	第１回全体会議：YouTube 配信	塩見
6/29	避難所運営会議：大網白里アリーナ	塩見
8/30~9/30	第２回全体会議：YouTube 配信	塩見
9/6	防災フェア会議：大網白里アリーナ	塩見
9/29	第３回全体会議：大網白里アリーナ	塩見
10/23	九都県市合同防災訓練	武田会長、稲葉、石毛、金子、西宮、鈴木、進藤、正林、舛田

〈防災訓練関連〉

8/25	成田市防災訓練会議	5 地区
10/4	災害発災時初動動作シミュレーション訓練	会員全員
10/7	成田市防災訓練会議	5 地区
10/16	佐倉市市民防災訓練	5 地区
10/31	市原市総合防災訓練説明会	9 地区
11/8	八街市防災訓練会議	5 地区
11/12	成田市総合防災訓練	5 地区
11/20	佐倉市本町防災訓練	5 地区
11/20	市原市総合防災訓練	9 地区
2/2	八街市防災訓練会議	5 地区
2/26	八街市防災訓練	5 地区

〈災害時支援協定関連〉　（令和５年１月現在）

協定市：佐倉市、浦安市、千葉市、船橋市、松戸市、習志野市、成田市、八街市、山武市、柏市

9/14	山武市母子保健連絡会議	6 地区
10/20	船橋市母子保健防災関連打ち合わせ	3 地区
2/7	山武市母子保健連絡会議	6 地区
2/10	習志野市防災会議	4 地区

〈研修会〉

11/5	日本助産師会災害対策委員会連携集会	塩見、佐藤副会長
2/23	千葉県小児周産期リエゾン養成研修会	塩見
2/25	災害対策委員会主催研修会「小児周産期リエゾンって？」 講師：成田赤十字病院　戸石悟司先生	会員向け

７．令和４年度「国際助産師の日」のつどい報告

６地区・「国際助産師の日」担当　清水

5 月 21 日～6 月 5 日　ユーチューブ配信を行い、以下の総視聴数、感想をいただきました。

Ⅰ　総視聴数　1574（インプレッション　4446）

	視聴回数	インプレッション
講演「ボンディングから広がる関係性」　総視聴回数	369	896
ワンポイントアドバイス　総視聴回数	1205	3550
きょうだいが増えた　二人目が生まれた時の育児のコツ	227	327
子どもを守る避難術	150	467
赤ちゃんネンネの悩みと対処法	171	272
助産師の電話無料相談のご紹介	112	540
さらしを使った骨盤ケアとマタニティヨガ	115	418
正しい抱っこひものつけ方	132	466
授乳のコツ	177	684
助産師さんのおいしいレシピ	131	376

※インプレッション‥YouTube 上に動画のサムネイルが表示された回数（視聴者の画面にサムネイルが 1 秒以上表示されると 1 インプレッションとしてカウントされる）

Ⅱ　アンケート結果（50 件回答より）

16 日間の動画配信を実施し、講演の総視聴回数は 369 回、ワンポイントアドバイス総視聴回数は 1205 回でした。無記名のアンケートでは、「仕事や体調によって直接話が聞けない人にとって動画配信はありがたいので続けてほしい」「平日なかなか休めない中、時間を選ばず視聴できるので助かる」「育児の合間に見ることができ良かった」「知りたかった情報を動画でわかりやすく学ぶことができた」「youtube 配信は自分の好きな時に見れる点がとても良いと感じた」「この時代に育児をする若い世代の人にはとても良い方法だと思う」等の評価をいただきました。また、「パートナーとも共有がしやすいので期間限定ではなく動画は残しておいてほしい」「今後も違うテーマやシリーズになったらいいなと思う」など、現動画の継続掲載やあらたな動画配信の要望もありました。一方、「対面のイベントを期待している」等の意見もありました。

母子の安全を第一にユーチューブを活用した動画配信を試みましたが、一定の評価を得られたと考えます。ですが、対面でのイベント開催を期待する声もあり、今後は感染動向を見据えたイベント企画・開催の検討が必要であると考えられました。コロナ禍、皆さまのご協力ありがとうございました。

８．要望書

千助第０３０１８号
令和４年８月１７日

千葉県知事
熊谷　俊人　様

一般社団法人千葉県助産師会
会長　　武田　智子

一般社団法人千葉県助産師会は、助産師職の専門団体として、次世代を担う子供たちを安心して生み育てられる社会を目指し、妊娠・出産・育児に対する活動を行っております。
千葉県内どこに住んでも、母子とその家族が、安心、安全に出産、子育てが行えるよう、産後ケア及び自然災害・新型コロナウイルス感染対策の提供体制のさらなる推進を図られますよう以下について要望いたします。

要望事項

１．希望するすべての母親が産前・産後ケアを受けることができるように産後ケアの周知と利用料金補助の拡充（産前・産後ケア補助券制度の創設）を願いたい。
１）産前・産後ケア事業の充実のため助産所の活用、拡充を図られたい。

2.　災害時の母子支援について対策を強化されたい。
１）災害時に助産所を包含した形で、千葉県内のネットワークを整備されたい。
２）災害時母子福祉避難所の設置を推進されたい。

3.今後も起こりうる新型コロナウイルス感染拡大を見越し、「新型コロナウイルスに感染した妊産婦への寄り添い型支援事業」が機能するように願いたい。
1)「新型コロナウイルスに感染した妊産婦への寄り添い型支援事業」について地域健康福祉センターから市町村保健センターへ再度の周知を願いたい。

4. 新型コロナウイルス感染防止対策を強化されたい。
１）　　助産所を含めた医療機関への情報及びネットワーク整備を図られたい。

5. 妊産婦健康診査受診票における公費負担は、施設による区別なく同様に受けられるように整備されたい。

6　妊娠、出産、育児に対する助産師の専門性が必要な「電話無料相談」における公的な支援制度の充実を図られたい。

７．成長発達段階に応じた次世代育成のための「包括的性教育」の推進を図られたい。

要望理由

１．　希望するすべての母親が産前・産後ケアを受けることができるように産後ケアの周知と利用料金補助の拡充（産前・産後ケア補助券制度の創設）を願いたい。

１）産前・産後ケア事業の充実のため助産所の活用、拡充を図られたい

令和３年４月から産後ケア事業が母子保健法に位置付けられたことにより、ハイリスク母子を対象としていた事業は、希望するすべての母親が対象となりサービスを受けられるように今後も広く社会に周知していくことが必要と考える。

マタニティマークが社会に浸透したように社会全体が産前・産後ケアを理解すること、利用者負担を軽減することで産前・産後ケア事業の利用が進むと考える。

新型コロナウイルス感染症により母子の孤立が一層深刻となり、母親の心理的問題や児童虐待の増加が懸念される。これらを予防するためにも、産前・産後ケアによる切れ目のない支援が重要と考えられ、産後ケア事業の利用率が高い地域ではクーポンで産後ケアが利用できる仕組みが作られている。妊産婦健康診査補助券のような、産前・産後ケアに関する補助券制度の創設を図られたい。

日本助産師会で行った「産後ケアに関する調査」において１）産後ケア事業市町村委託を受けている助産所は黒字 30%、赤字 60%　2）出生数の低い市町村（年間 1000 人以下）では赤字 70%となり、6 割が助産所の利益となっていない厳しい現状が明らかになった。助産師が単独あるいは一人雇用によって、人件費を削減して産後ケアに係る諸経費を捻出しようと努力している状況である。産後ケアを提供する施設の負担が大きくなっており、産前・産後ケア事業を継続するためには委託費を適正水準に引き上げ､産後ケア事業にかかる補助金制度の在り方および利用条件･制限の撤廃を検討願いたい。さらに産後ケア利用の周知の推進をお願いしたい。

２．　災害時の母子支援について対策を強化されたい。

１）災害時に助産所を包含した形で千葉県内のネットワークを整備されたい。

現在、千葉県内において出産を扱う有床助産所は、広域災害情報システム（EMIS）に包含されておらず、災害時には、助産所で出産した母子の情報が伝わらず、支援が遅れる可能性がある。助産所で扱う年間の出生数を考えると決して多い数ではないが、千葉県内で出産する母子の命が一人でも失われることがないように、有床助産所を広域災害情報システム（EMIS）に加え連携、協働が円滑に進むように願いたい。

２）災害時母子福祉避難所の設置の推進を願いたい。

災害時、母子は避難所での授乳、泣き声等への配慮から避難所を避ける傾向がある。また妊婦は避難所で災害弱者として声をあげにくく特別な配慮がされないまま我慢が強いられる現状が考えられる。このような事情から、支援が必要な妊産婦や母子の把握が困難となっている。母子福祉避難所の設置を推進し、災害時には速やかに母子が避難できる仕組みの検討が急がれる。

3.　今後も起こりうる新型コロナウイルス感染拡大を見越し、「新型コロナウイルスに感染した妊産婦への寄り添い型支援事業」が機能するように願いたい。

１）「新型コロナウイルスに感染した妊産婦への寄り添い型支援事業」について地域健康福祉センターから市町村保健センターへ再度の周知を願いたい。

新型コロナウイルス感染症の流行が長期間続く中、新型コロナウイルス陽性妊産婦の方は一般の方々以上に日常生活が制約され胎児・新生児の成長についても強い不安を抱いて生活を送っている状況にある。また新型コロナウイルス感染症より回復した後も特有の不安を有する。その不安を軽減し健やかな育児につなげるために「寄り添い型支援事業」のさらなる周知を願いたい。

2）県委託による、電話及びオンライン相談が可能であるように願いたい。

第６波において妊産婦陽性者、濃厚接触者に対しての電話相談.オンライン相談及び訪問が実施不可のため感染妊産褥婦へ専門職の支援が届かず、不備を経験した。次の感染拡大を見越して県ホームページから本会へ依頼が可能となるよう願いたい。

4. 新型コロナウイルス感染防止対策を強化されたい。

１）助産所を含めた医療機関への情報及びネットワーク整備を図られたい。

妊産婦への感染及び濃厚接触者におけるネットワーク整備が機能し始めているが、今後も妊産褥婦を含む家族の安全確保が必ず保たれることが必須である。早急の情報発信とともに医療機関の確保をお願いしたい。

5. 妊産婦健康診査受診票における公費負担は、施設による区別なく妊産婦が同様に受けられるように整備されたい。

妊婦健康診査受診時に使用する「妊婦健康診査受診券」（１４回分）は県内において助産所で使用不可の利用券（2 回）が存在する。妊産婦への不利益を起こさない措置の検討が急がれる。

6. 妊娠、出産、育児に対する助産師の専門性が必要な「電話無料相談」における公的な支援の充実を図られたい。

新型コロナウイルス及び変異株によって感染が拡大した第 6 波の際、授乳、離乳、育児不安、妊娠出産、子どもの発達などの相談場所として電話無料相談が大変重要視され、相談件数も約 1200 件と新型コロナウイルス流行前と大きな変化は見られなかった。このことは新型コロナウイルス感染の有無に関係なく育児不安に陥る母子はいつも存在するとの証明になる。本会が行っている「電話無料相談」に対して利用者から感謝の意が届いている。現在までボランティアで実施している事業であるが、県内の電話相談を受けるためには、常に資質の向上を図り ~~る~~、電話接遇等の研修会が必須となっている。会員の知識向上及びさらなる電話相談員育成のため財政上の支援をお願いしたい。

７． 成長発達段階に応じた次世代育成のための「包括的性教育」の推進を図られたい。

「健やか親子 21（第２次）」の中間評価等に関する検討会報告から、学童期・思春期から成人期に向けた保健対策において、特に十代の性に関する課題、食生活等生活習慣に関する課題につ

いて更なる取り組みの充実が必要と指摘されているところである。そのためには正しい知識を身に付けることの重要性が強く指摘されている。自身の健康管理、家事や育児に関する教育は重要な視点と考えるが、学校教育現場での教育だけでは限界もあると考える。

そこで、本会では 46 名の専門講師が千葉県内の小中学校を中心として「生と性の健康教育講座」を実施している。コロナ禍、令和２年度は、実施数 448 か所、参加 19833 名と半減したものの令和３年度は、実施数 351 か所、参加 31417 名と増加に転じ依頼件数も徐々に増えてきている。成長発達段階に応じた「包括的性教育」を実施することで、「いのち」や「子どもを産み育てる」ことへの漠然としたイメージがより具体化し、自らの生活や今後のキャリア、家族との協働を考える機会となっていることが明らかになっている。

子どもたちが社会で自立し活躍できるために行われるキャリア教育の充実､推進の一環として、助産師による包括的性教育の講師派遣を積極的に推進願いたい。